

- ▶ 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等によりその避難経路が使用できない場合は、他の経路により避難を実施。

対象地区

- ▶ 長岡市:A 希望が丘(7,797人)、B 日越(9,830人)、C 宮本(1,165人)、D 大積(676人)、E 深才(4,044人)、F 青葉台(4,035人)（計27,547人）

避難先：燕市、弥彦村

避難経由所

燕市分水公民館
 道の駅「国上」
 弥彦体育館
 燕市25施設（収容可能人数：30,114人）、
 弥彦村3施設（収容可能人数：1,651人）
 から、新潟県と燕市、弥彦村が調整の上、
 決定。

【主な経路①】

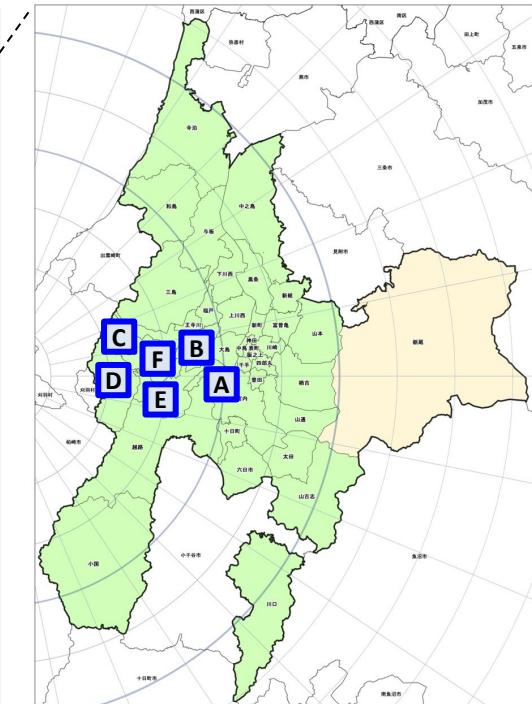
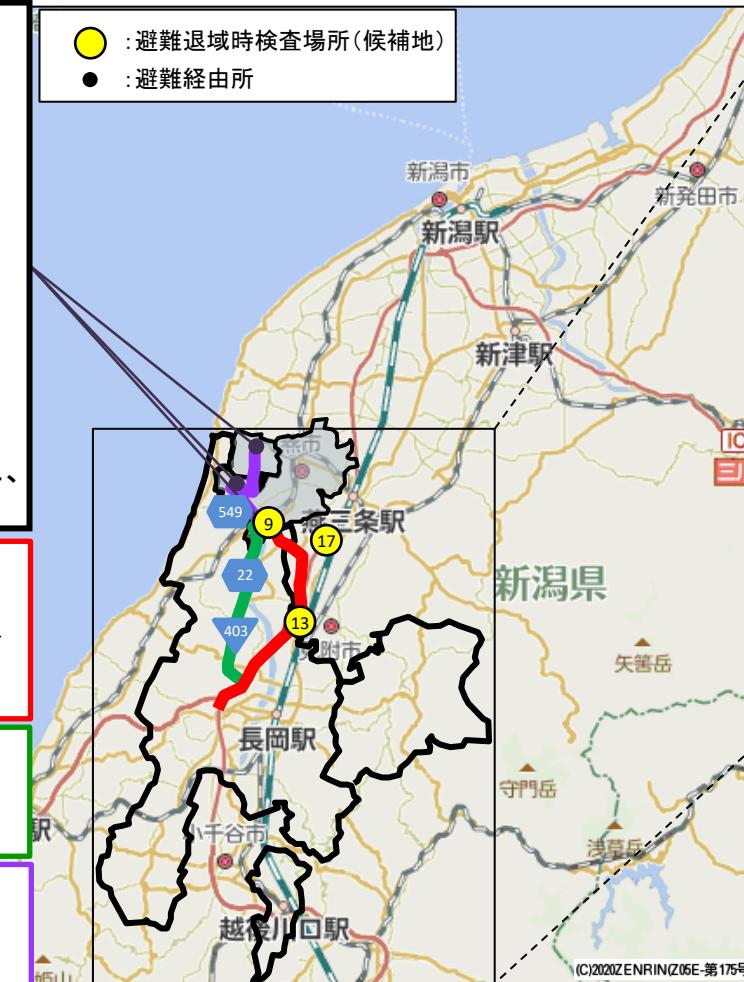
ながおか なかのしまみつけ
 長岡IC→北陸自動車道→中之島見附IC
 →国道8号→県道498号→県道165号→
 県道18号

【主な経路②】

国道403号→県道22号→県道549号→
 国道116号→県道18号

【主な経路③】

国道403号→県道22号→県道549号→
 県道2号



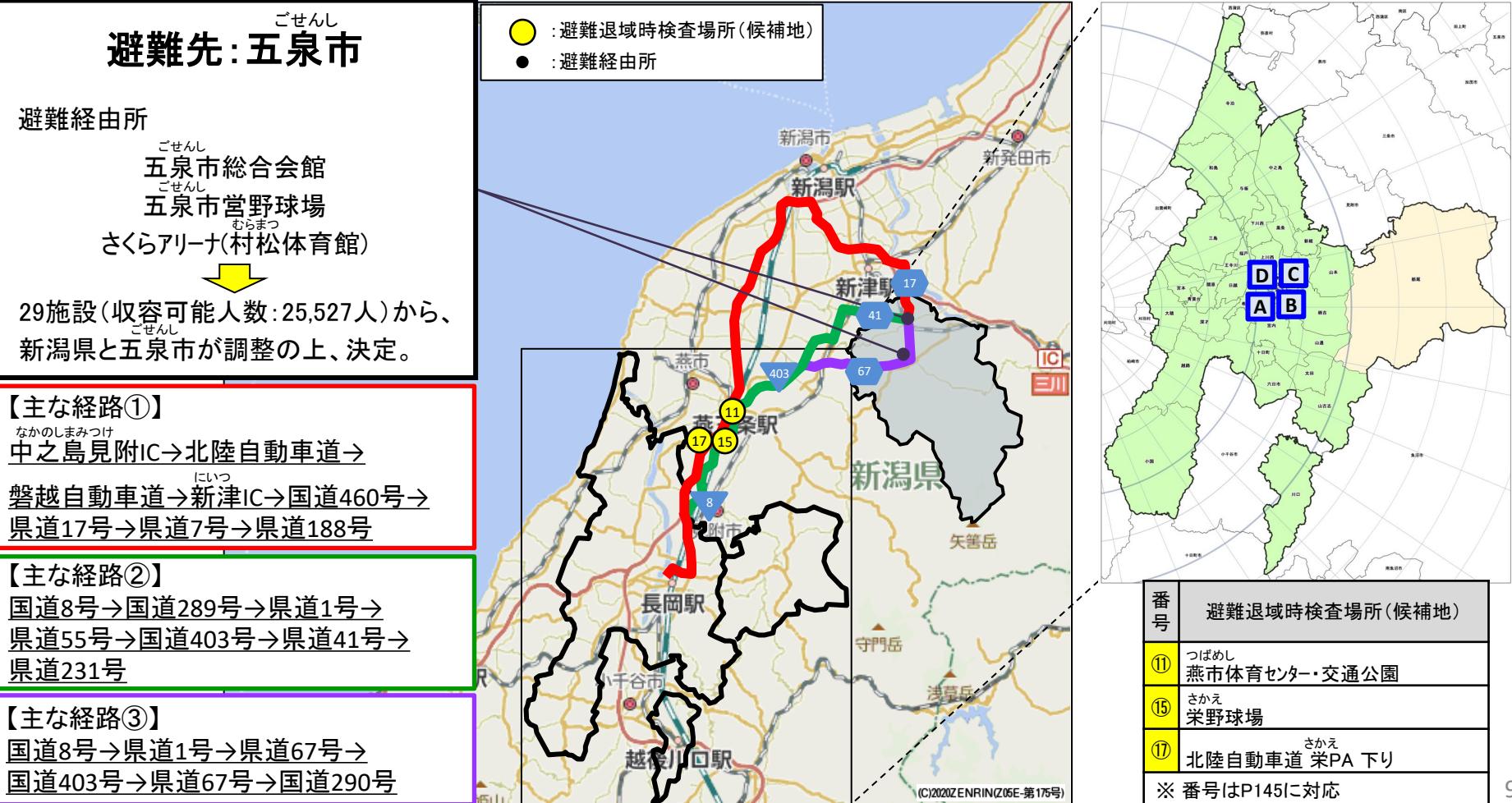
番号	避難退域時検査場所(候補地)
⑨	おおこうづぶんすい 大河津分水さくら公園
⑯	道の駅 ハティオにいがた
⑰	北陸自動車道 栄PA下り

※ 番号はP145に対応

- ▶ 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等によりその避難経路が使用できない場合は、他の経路により避難を実施。

対象地区

- ながおかし せんじゅ さかのうえ おもてまち なかじま
 長岡市:A 千手(7,250人)、B 阪之上(5,364人)、C 表町(4,009人)、D 中島(4,613人)
 (計21,236人)



ながおかし かんだ かわさき 長岡市（神田、川崎地区）におけるUPZ内から避難先施設までの主な経路

- ▶ 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等によりその避難経路が使用できない場合は、他の経路により避難を実施。

対象地区

- ▶ 長岡市:A 神田(2,823人)、B 川崎(13,806人)（計16,629人）

避難先：阿賀野市

避難経由所

阿賀野市立図書館

35施設（収容可能人数：17,848人）から、
新潟県と阿賀野市が調整の上、決定。

【主な経路①】

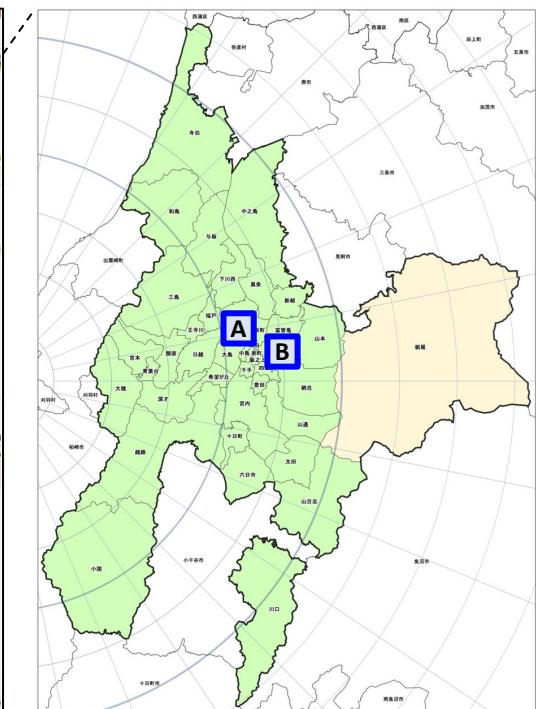
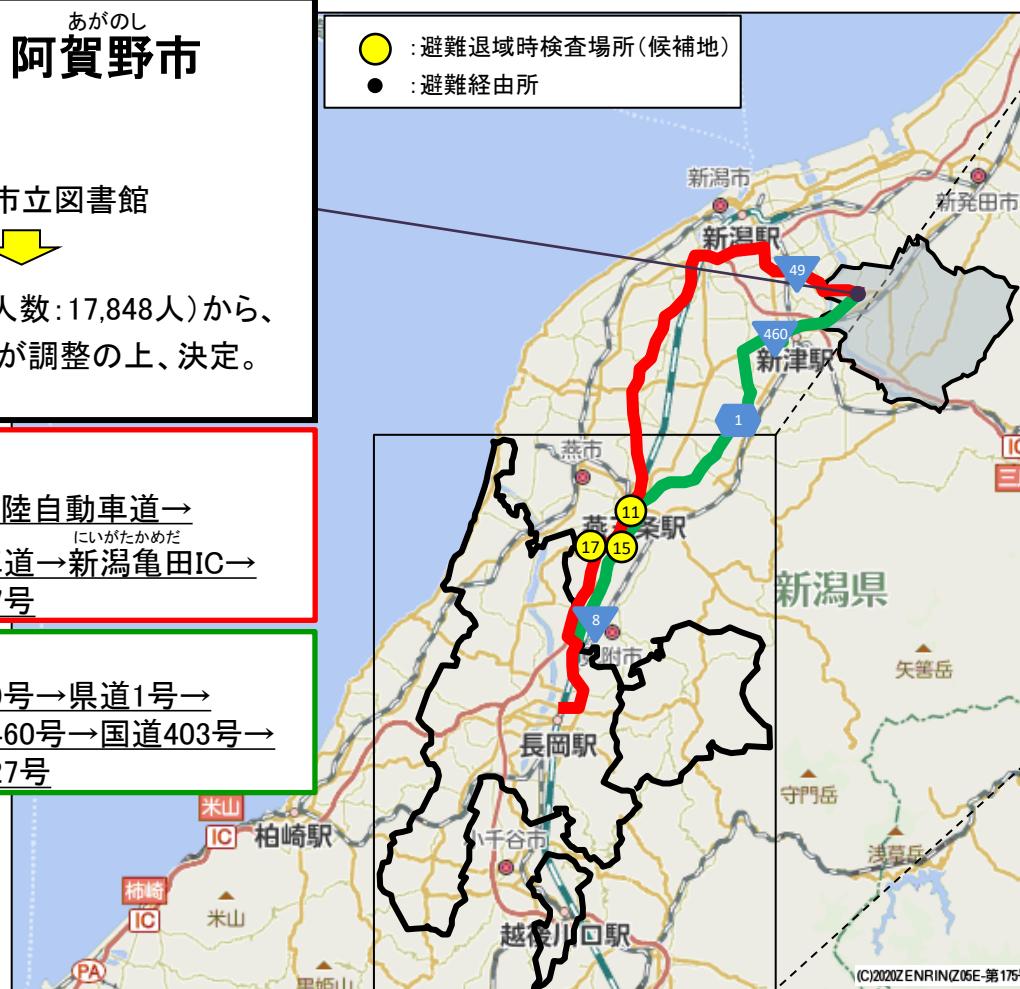
なかしまみつけ
中之島見附IC→北陸自動車道→
日本海東北自動車道→新潟亀田IC→
国道49号→県道27号

【主な経路②】

国道8号→国道289号→県道1号→
県道127号→国道460号→国道403号→
国道460号→県道27号

○：避難退域時検査場所（候補地）

●：避難経由所



番号	避難退域時検査場所（候補地）
⑪	つばめし 燕市体育センター・交通公園
⑯	さかえ 栄野球場
⑰	さかえ 北陸自動車道 栄PA 下り

※ 番号はP145に対応

ながおかし すよし 長岡市（栖吉地区）におけるUPZ内から避難先施設までの主な経路

- ▶ 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等によりその避難経路が使用できない場合は、他の経路により避難を実施。

対象地区

- ▶ 長岡市:A 栖吉(7,343人)（計7,343人）

あがまち 避難先:阿賀町

避難経由所

あが
道の駅「阿賀の里」

20施設(収容可能人数:8,121人)から、
新潟県と阿賀町が調整の上、決定。

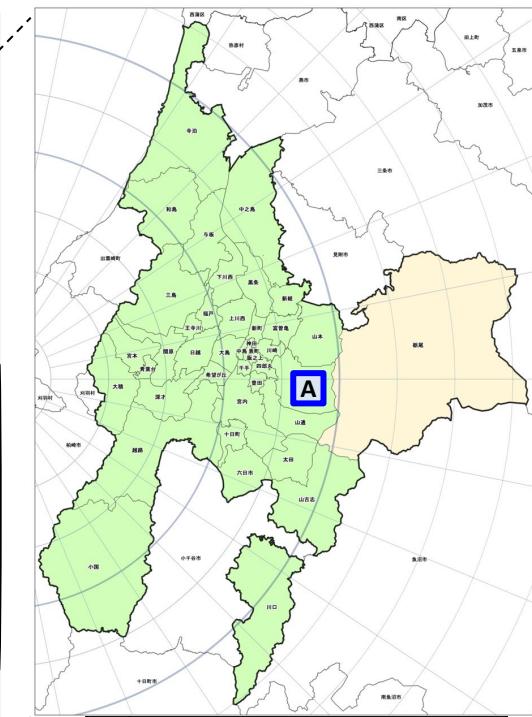
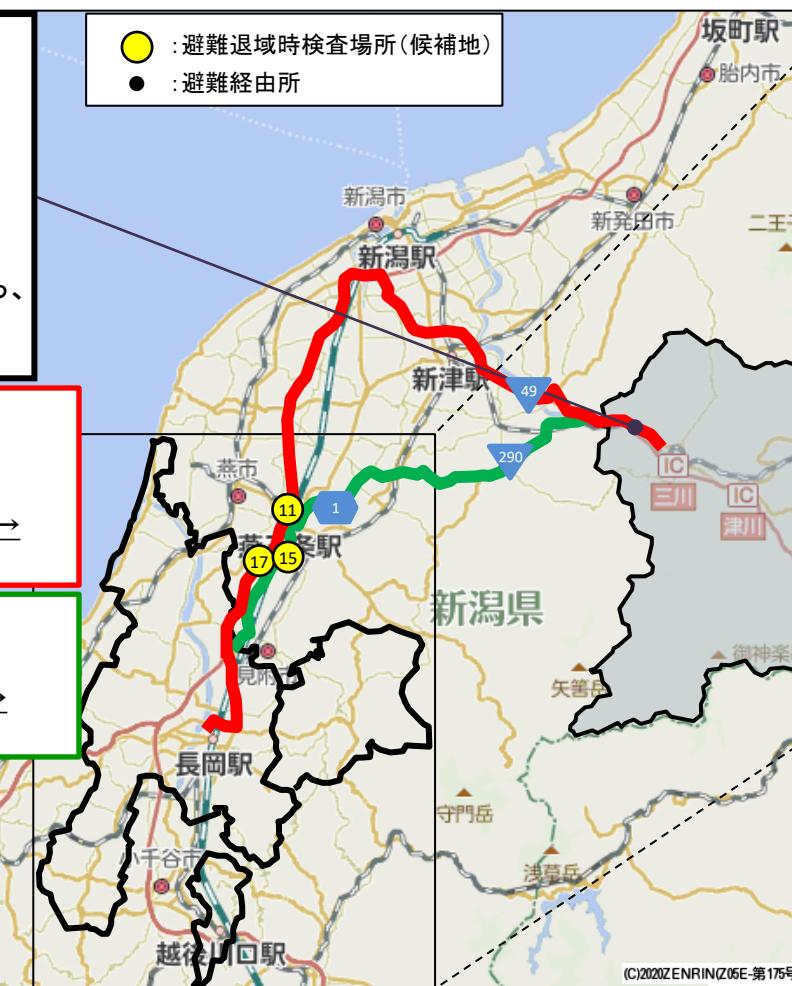
- : 避難退域時検査場所(候補地)
- : 避難経由所

【主な経路①】

なかのしまみつけ
中之島見附IC→北陸自動車道→
やすだ
磐越自動車道→安田IC→県道41号→
国道49号

【主な経路②】

国道8号→国道289号→県道1号→
県道67号→国道403号→県道67号→
国道290号→国道49号



番号	避難退域時検査場所(候補地)
⑪	つばめし 燕市体育センター・交通公園
⑯	さかえ 栄野球場
⑰	さかえ 北陸自動車道 栄PA 下り

※ 番号はP145に対応

- ▶ 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等によりその避難経路が使用できない場合は、他の経路により避難を実施。

対象地区

- ▶ 長岡市: A 越路(12,826人)、B 山古志(745人)、C 小国(4,316人)、D 川口(3,799人)
 (計21,686人)

避難先:魚沼市

避難経由所

魚沼市役所旧堀之内庁舎
 魚沼市響きの森文化会館

41施設(収容可能人数:23,701人)から、
 新潟県と魚沼市が調整の上、決定。

【主な経路①】

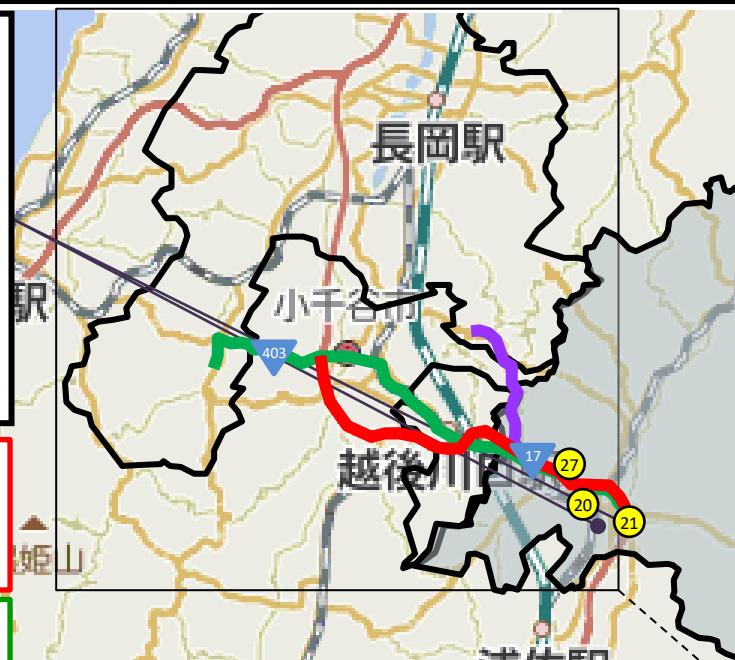
小千谷IC→関越自動車道→魚沼IC→
 国道291号

【主な経路②】

国道403号→国道404号→国道291号→
 国道117号→県道83号→県道71号→
 国道17号→国道291号

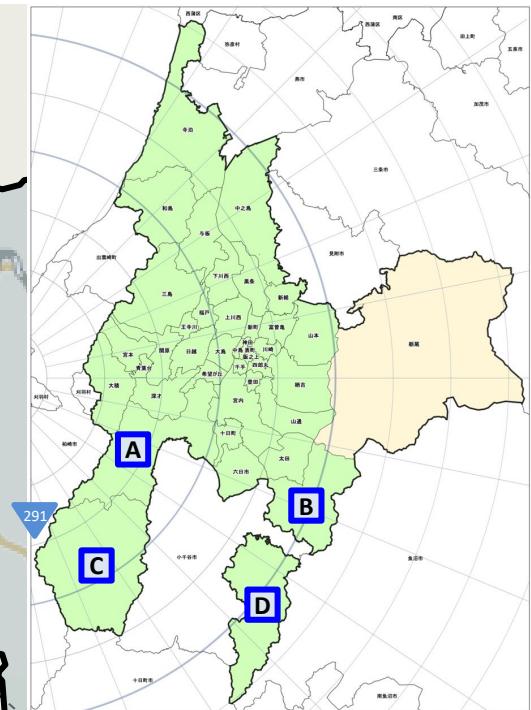
【主な経路③】

国道291号→県道23号→国道252号→
 国道17号→国道291号



番号	避難退域時検査場所(候補地)
⑩	つきおか 月岡公園
⑪	うおぬまし 魚沼市響きの森文化会館
⑫	ほりのうち 関越自動車道 堀之内PA 上り

※ 番号はP145に対応



- : 避難退域時検査場所(候補地)
- : 避難経由所

- ▶ 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等によりその避難経路が使用できない場合は、他の経路により避難を実施。

対象地区

- ▶ 長岡市: A 豊田(9,541人) B 十日町(1,591人)、C 六日市(2,271人)、D 太田(166人)、E 山通(2,619人) (計16,188人)

避難先:長岡市(栃尾地域)

避難経由所

道の駅「R290とちお」



18施設(収容可能人数:17,447人)から、
新潟県と長岡市が調整の上、決定。

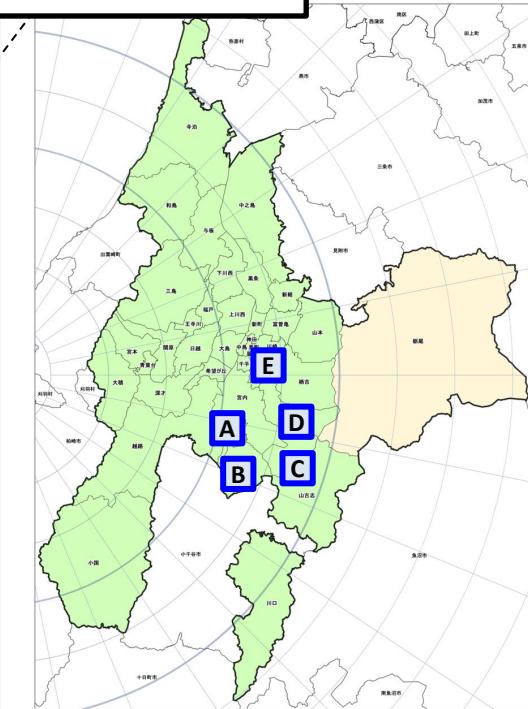
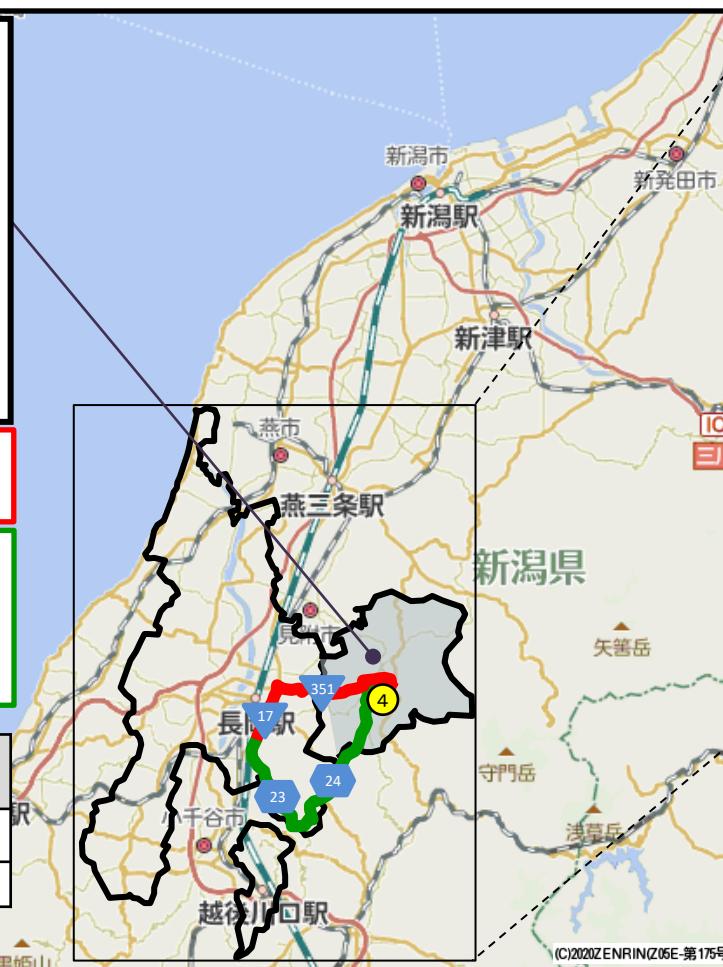
【主な経路①】

国道17号→国道351号→国道290号

【主な経路②】

国道17号→県道370号→県道23号→
県道24号→県道9号→国道351号→
国道290号

番号	避難退域時検査場所(候補地)
④	道の駅 R290とちお
※	番号はP145に対応



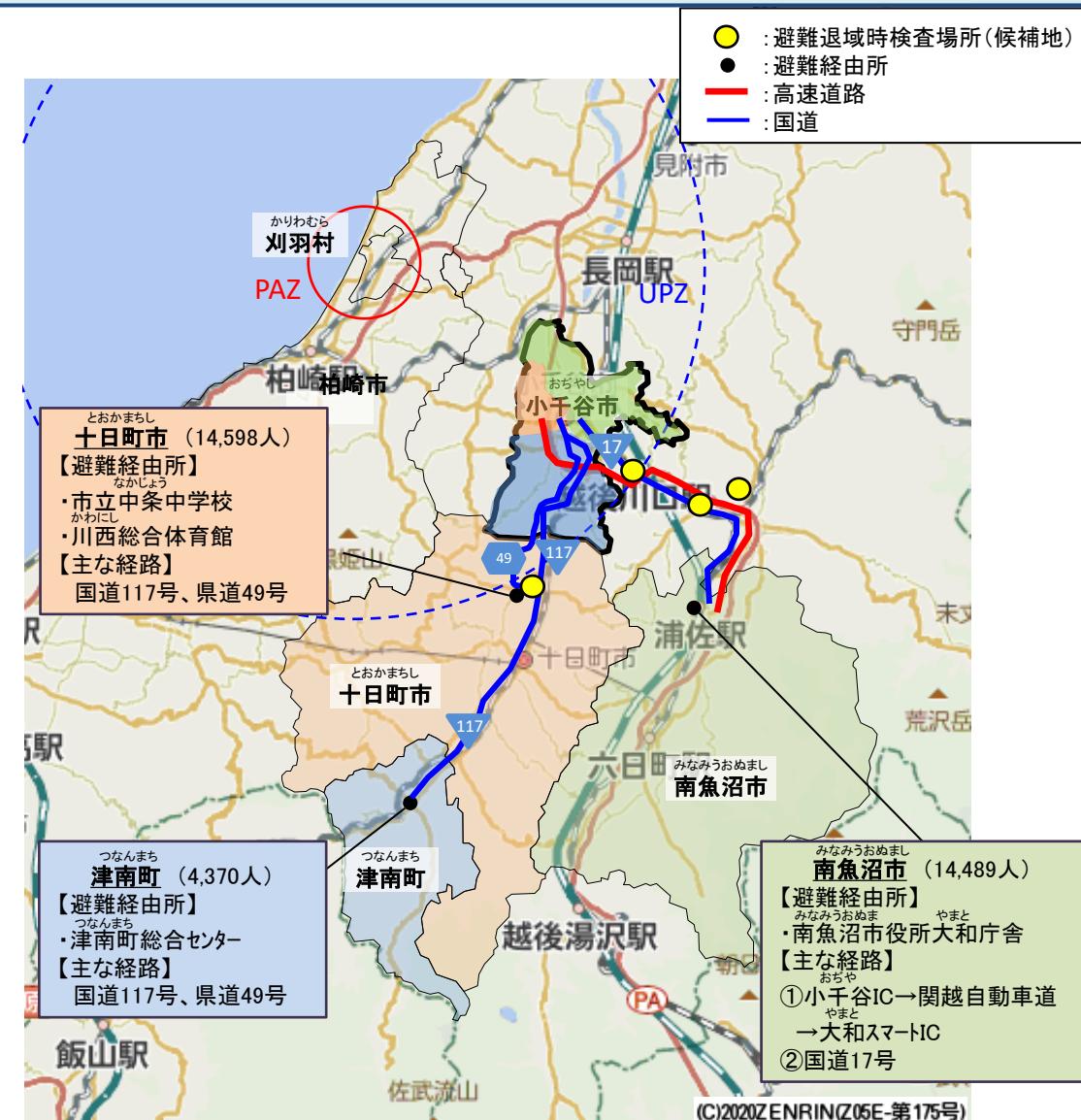
- : 避難退域時検査場所(候補地)
● : 避難経由所

おぢやし 小千谷市におけるUPZ内から避難先施設までの主な経路

- 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等によりその避難経路が使用できない場合は、他の経路により避難を実施。

地区・コミュニティ	避難先市町	避難経由所
西小千谷地区 城川地区	十日町市	2箇所
東小千谷地区 千田地区 東山地区 片貝地区	南魚沼市	1箇所
山辺地区 吉谷地区 川井地区 岩沢地区 真人地区	津南町	1箇所

*避難経由所から、避難所に段階的に順次移動する。



- ▶ 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等によりその避難経路が使用できない場合は、他の経路により避難を実施。

対象地区

おぢやし にしおぢや しろかわ
▶ 小千谷市:西小千谷(5,885人)、城川(8,713人)（計14,598人）

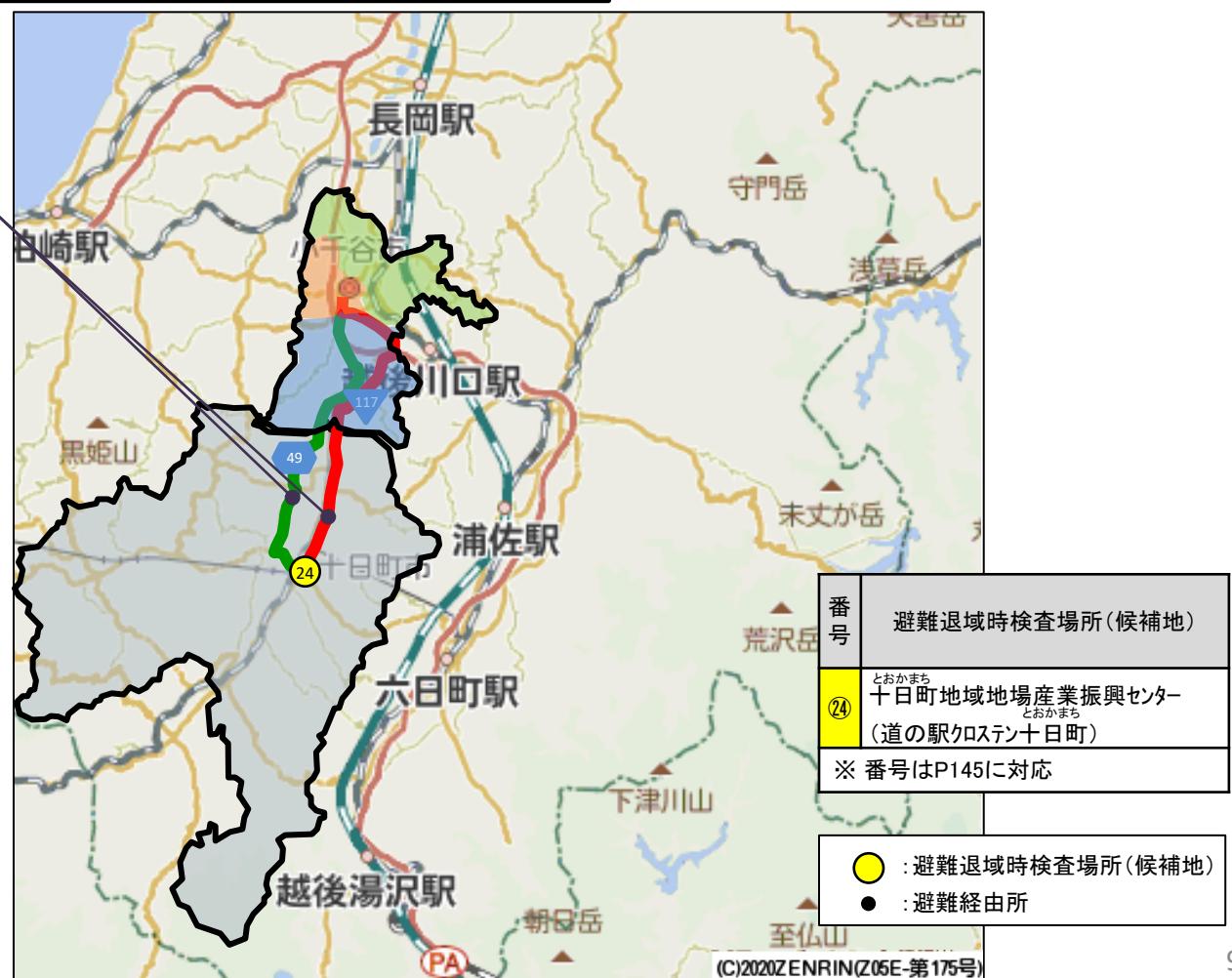
避難先:十日町市

避難経由所
とおかまち
十日町市立中条中学校
なかじょう
かわにし
川西総合体育馆

43施設(収容可能人数:22,697人)から、
新潟県と十日町市が調整の上、決定。

【主な経路①】
国道117号

【主な経路②】
県道49号



- ▶ 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等によりその避難経路が使用できない場合は、他の経路により避難を実施。

対象地区

▶ 小千谷市: 東小千谷(5,849人)、千田(4,386人)、東山(435人)、片貝(3,819人) (計14,489人)

避難先: 南魚沼市

避難経由所

南魚沼市役所大和庁舎



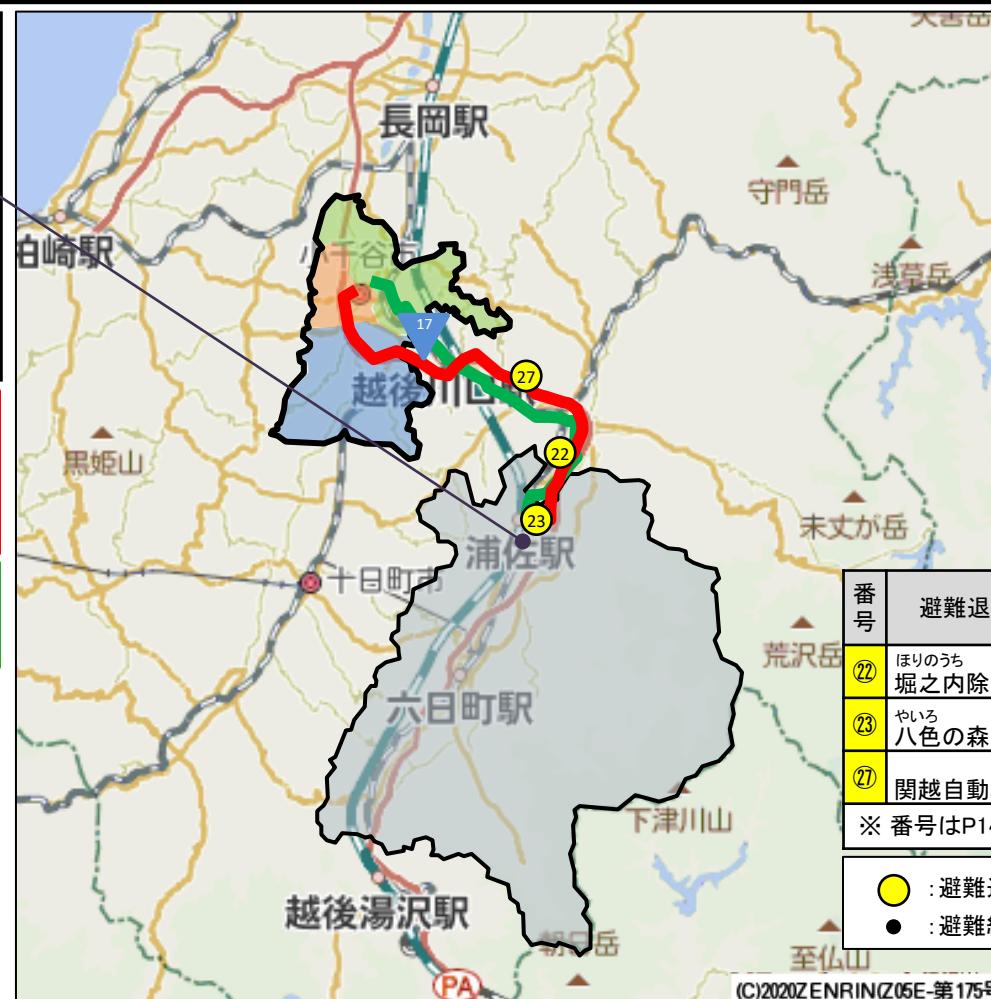
52施設(収容可能人数: 26,242人)から、
新潟県と南魚沼市が調整の上、決定。

【主な経路①】

小千谷IC → 関越自動車道 →
大和IC(スマート) → 県道265号

【主な経路②】

国道17号



- ▶ 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等によりその避難経路が使用できない場合は、他の経路により避難を実施。

対象地区

- ▶ 小千谷市: 山辺(1,269人)、吉谷(1,098人)、川井(420人)、岩沢(646人)、真人(937人)
(計4,370人)

避難先: 津南町

避難経由所

津南町総合センター



10施設(収容可能人数:4,804人)から、
新潟県と津南町が調整の上、決定。

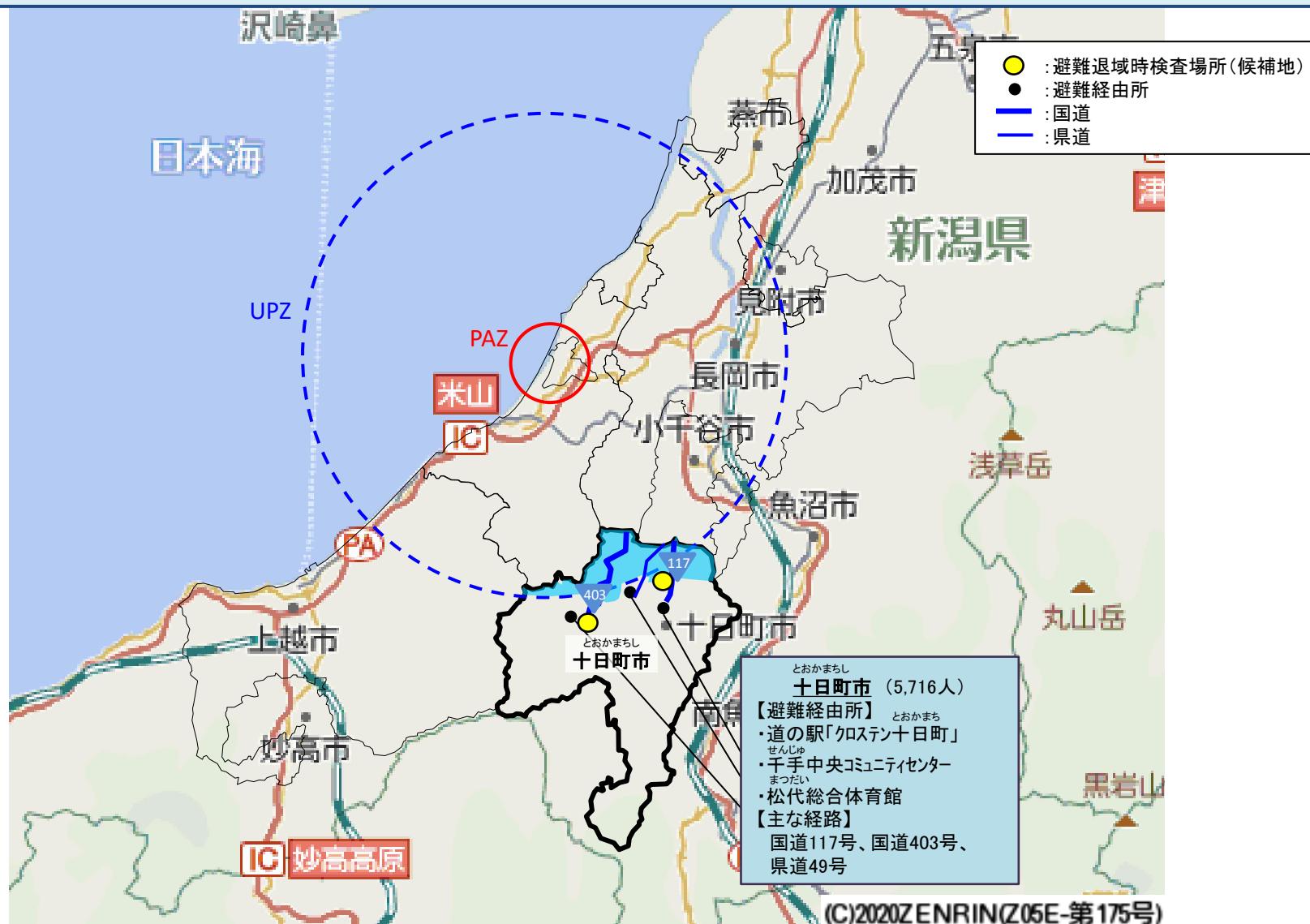
【主な経路①】
国道117号

【主な経路②】
県道49号→国道253号→国道117号



十日町市におけるUPZ内から避難先施設までの主な経路

- ▶ 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等によりその避難経路が使用できない場合は、他の経路により避難を実施。



- ▶ 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等によりその避難経路が使用できない場合は、他の経路により避難を実施。

対象地区

- ▶ 十日町市：下条(2,848人)、上野(1,014人)、橘(1,186人)、仙田(462人)、峰方(20人)、山平(36人)
(計5,566人)

避難先：十日町市

避難経由所

道の駅「クロステン十日町」
千手中央コミュニティセンター
まつだい 松代総合体育館

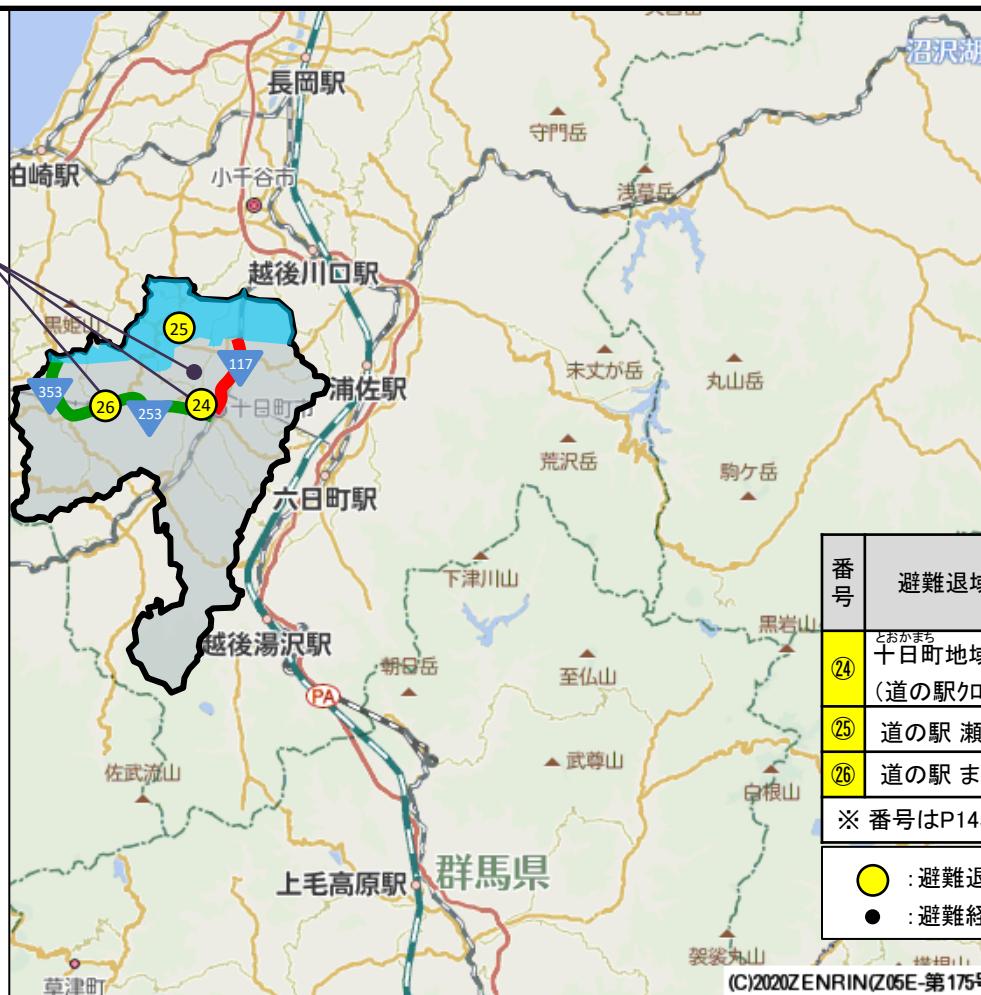
43施設(収容可能人数:22,697人)から、
新潟県と十日町市が調整の上、決定。

【主な経路①】

国道117号

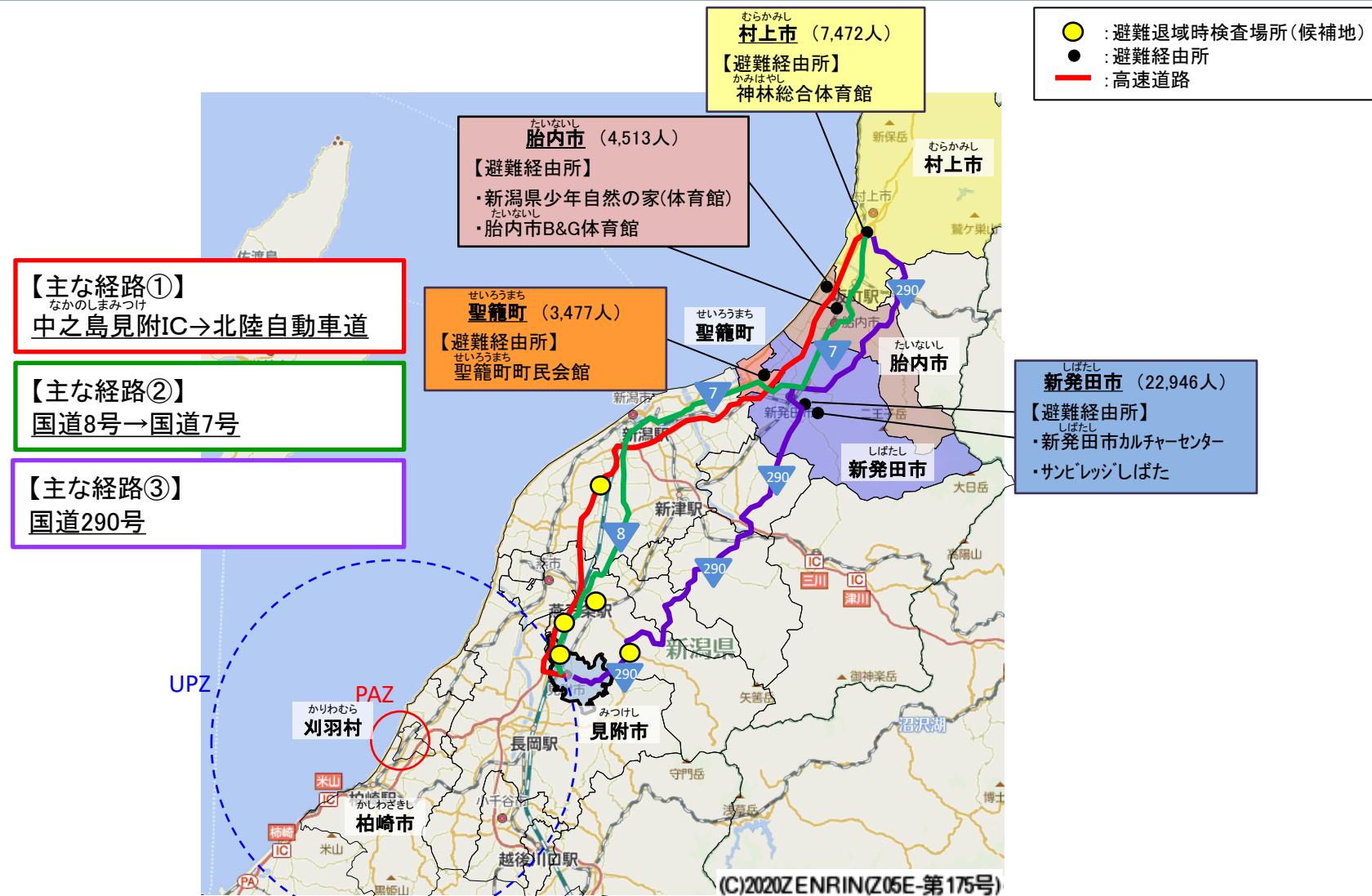
【主な経路②】

国道353号→国道253号



見附市におけるUPZ内から避難先施設までの主な経路

- 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等によりその避難経路が使用できない場合は、他の経路により避難を実施。



▶ 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等によりその避難経路が使用できない場合は、他の経路により避難を実施。

対象地区

▶ 見附市:A 見附町部東(6,963人)、B 見附町部西(6,914人)、C 今町町部(6,775人)、D 今町田園(1,221人)、E 庄川平(1,073人) (計22,946人)

避難先:新発田市

避難経由所

新発田カルチャーセンター
サンビレッジしばた



33施設(収容可能人数:24,016人)から、
新潟県と新発田市が調整の上、決定。

【主な経路①】

中之島見附IC→北陸自動車道→
日本海東北自動車道→聖籠新発田IC→
国道7号→国道460号→国道290号

【主な経路②】

国道8号→国道7号→県道535号

【主な経路③】

県道19号、県道210号又は県道213号→
国道290号



番号	避難退域時検査場所(候補地)
⑯	さかえ 栄野球場
⑯	さんじょう しただ 三条市役所下田庁舎
⑯	さかえ 北陸自動車道 栄PA 下り
※ 番号はP145に対応	
●	避難退域時検査場所(候補地)
●	避難経由所

みつけし くすまき
見附市（葛巻地区）におけるUPZ内から避難先施設までの主な経路

- ▶ 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等によりその避難経路が使用できない場合は、他の経路により避難を実施。

対象地区

みつけし くすまき
見附市：葛巻（7,472人）（計7,472人）

避難先：村上市

避難経由所

かみはやし
神林総合体育館

43施設（収容可能人数：23,521人）から、
新潟県と村上市が調整の上、決定。

【主な経路①】

なかのしまみつけ
中之島見附IC→北陸自動車道→

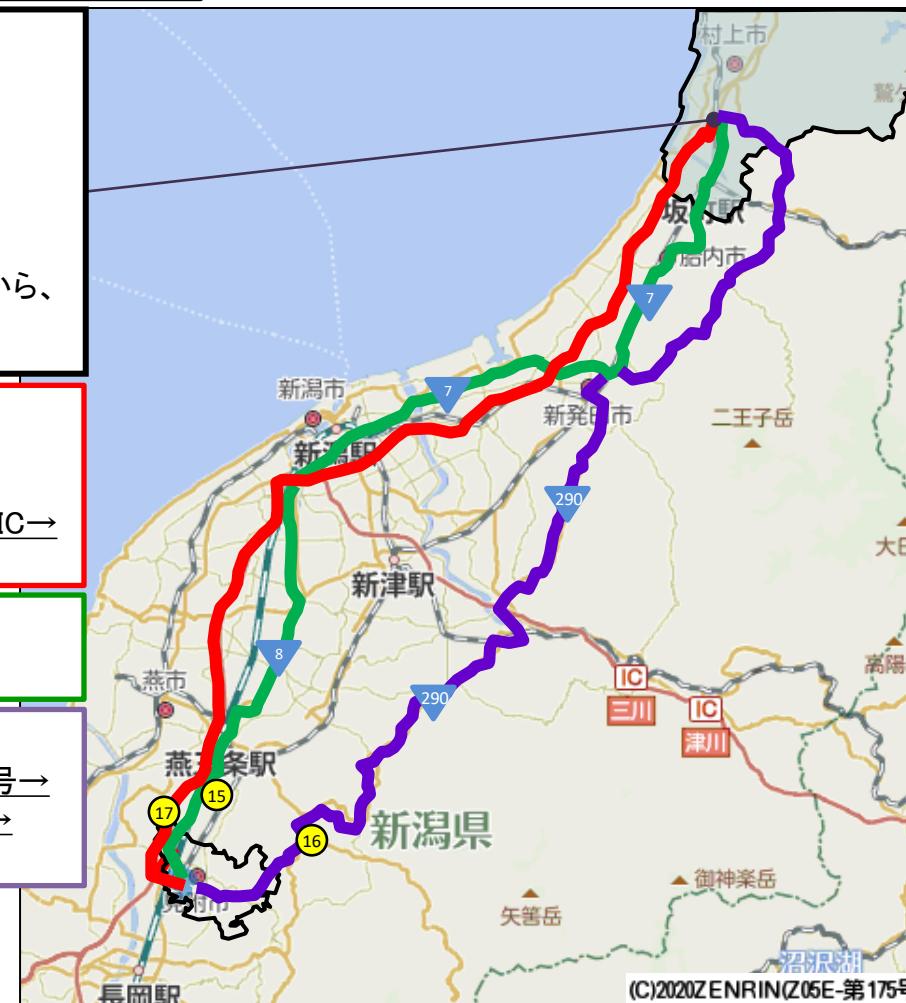
かみはやしいわふね
日本海東北自動車道→神林岩船港IC→
市道

【主な経路②】

国道8号→国道7号→市道

【主な経路③】

県道19号、県道210号又は県道213号→
国道290号→国道7号→国道290号→
県道142号→市道



番号	避難退域時検査場所(候補地)
⑯	さかえ 栄野球場
⑰	さんじょう しただ 三条市役所下田庁舎
⑱	さかえ 北陸自動車道 栄PA 下り

※ 番号はP145に対応

● : 避難退域時検査場所(候補地)
● : 避難経由所

- ▶ 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等によりその避難経路が使用できない場合は、他の経路により避難を実施。

対象地区

- ▶ 見附市: 北谷北部(3,490人)、北谷南部(1,023人) (計4,513人)

避難先: 胎内市

避難経由所

新潟県少年自然の家(体育館)
胎内市B&G体育館

10施設(収容可能人数:6,519人)から、
新潟県と胎内市が調整の上、決定。

【主な経路①】

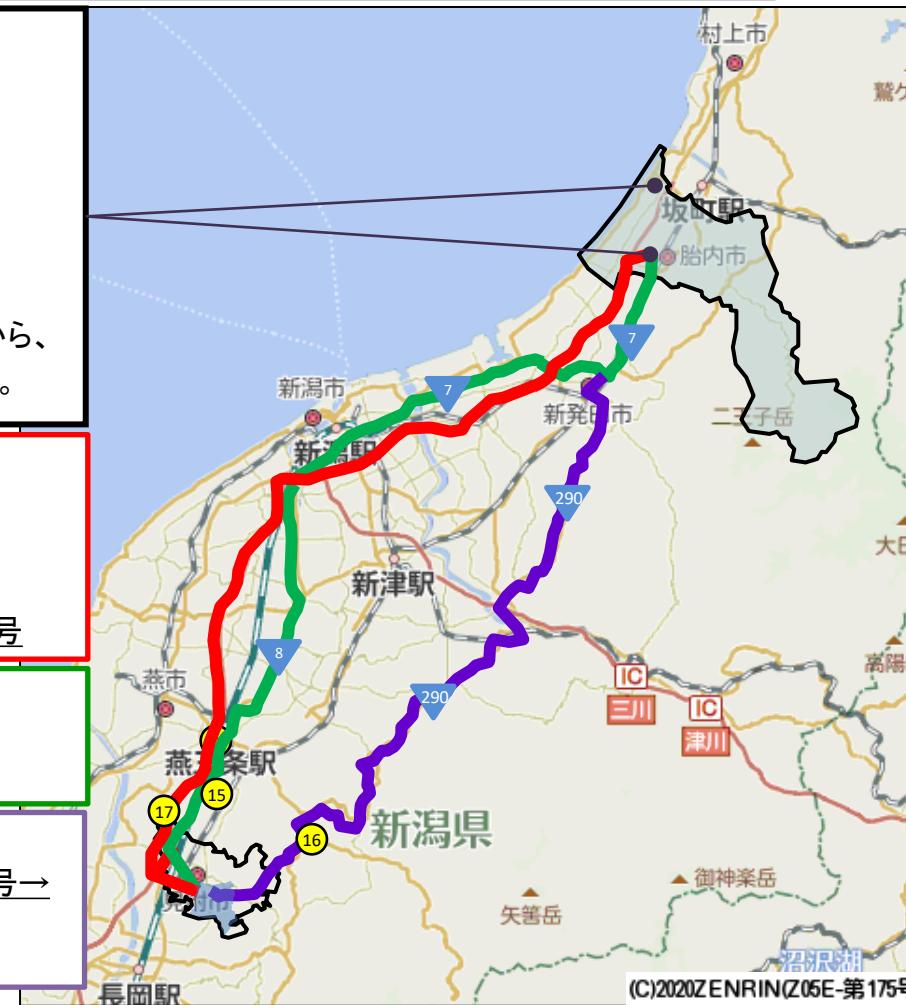
中之島見附IC→北陸自動車道→
日本海東北自動車道→中条IC→
県道591号→鷹ノ巣道路→県道314号

【主な経路②】

国道8号→国道7号→県道54号→
県道314号

【主な経路③】

県道19号、県道210号又は県道213号→
国道290号→国道7号→県道54号→
県道314号



番号	避難退域時検査場所(候補地)
⑯	さかえ 栄野球場
⑯	さんじょう しただ 三条市役所下田庁舎
⑯	さかえ 北陸自動車道 栄PA 下り

* 番号はP145に対応

- (○) : 避難退域時検査場所(候補地)
- (●) : 避難経由所

- 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等によりその避難経路が使用できない場合は、他の経路により避難を実施。

対象地区

▶ 見附市: 見附第二小学校区(580人)、新潟(1,833人)、上北谷(1,064人) (計3,477人)

せいろうまち

避難経由所

せいろうまち
聖籠町町民会館

9施設(収容可能人数:12,087人)から、
新潟県と聖籠町が調整の上、決定。

【主な経路①】

中之島見附IC→北陸自動車道→

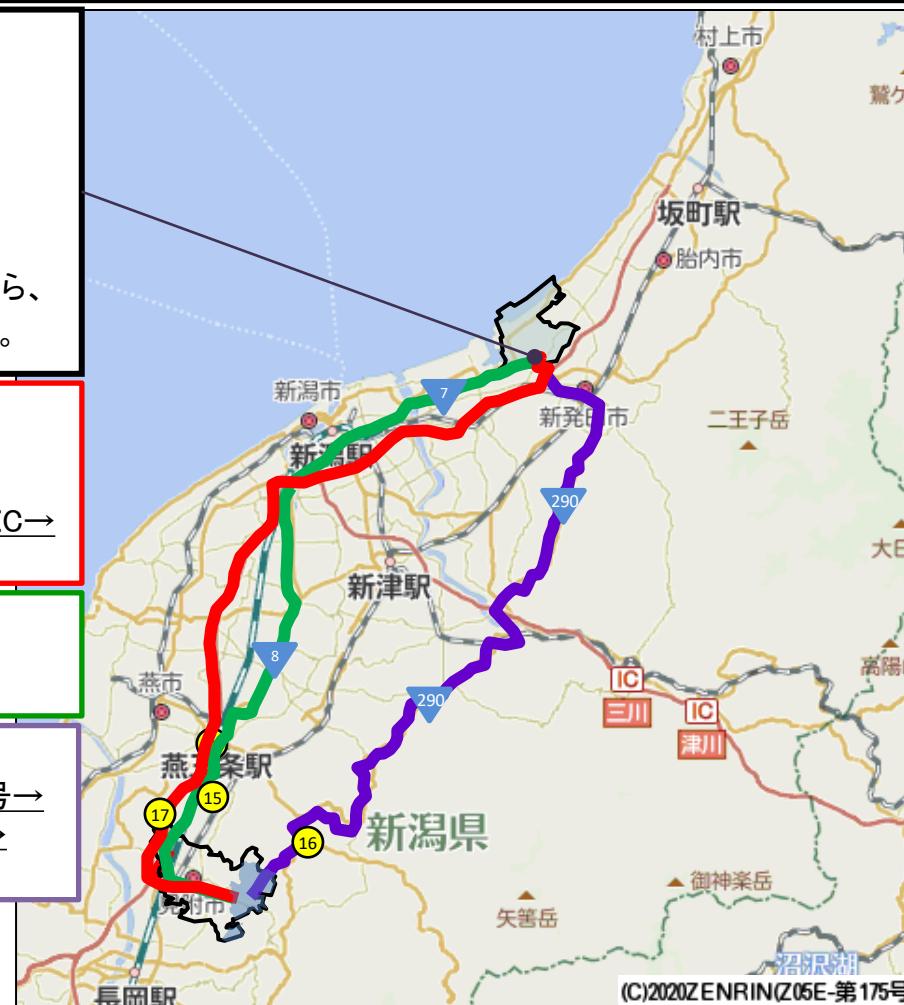
日本海東北自動車道→聖籠新発田IC→
国道7号→県道3号→県道203号

【主な経路②】

**国道8号→国道7号→県道3号→
県道203号**

【主な経路③】

県道19号、県道210号又は県道213号→
国道290号→国道460号→国道7号→
県道3号→県道203号



番号	避難退域時検査場所(候補地)
⑯	さかえ 栄野球場
⑯	さんじょう しただ 三条市役所下田庁舎
⑰	さかえ 北陸自動車道 栄PA 下り

燕市におけるUPZ内から避難先施設までの主な経路

- 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等によりその避難経路が使用できない場合は、他の経路により避難を実施。



- ▶ 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等によりその避難経路が使用できない場合は、他の経路により避難を実施。

対象地区

- ▶ 燕市:渡部(162人)、真木山(52人)、幕島(52人)、大川津興野(6人)、下中条(25人) (計297人)

避難先:燕市(UPZ外)

避難経由所

燕市立分水北小学校



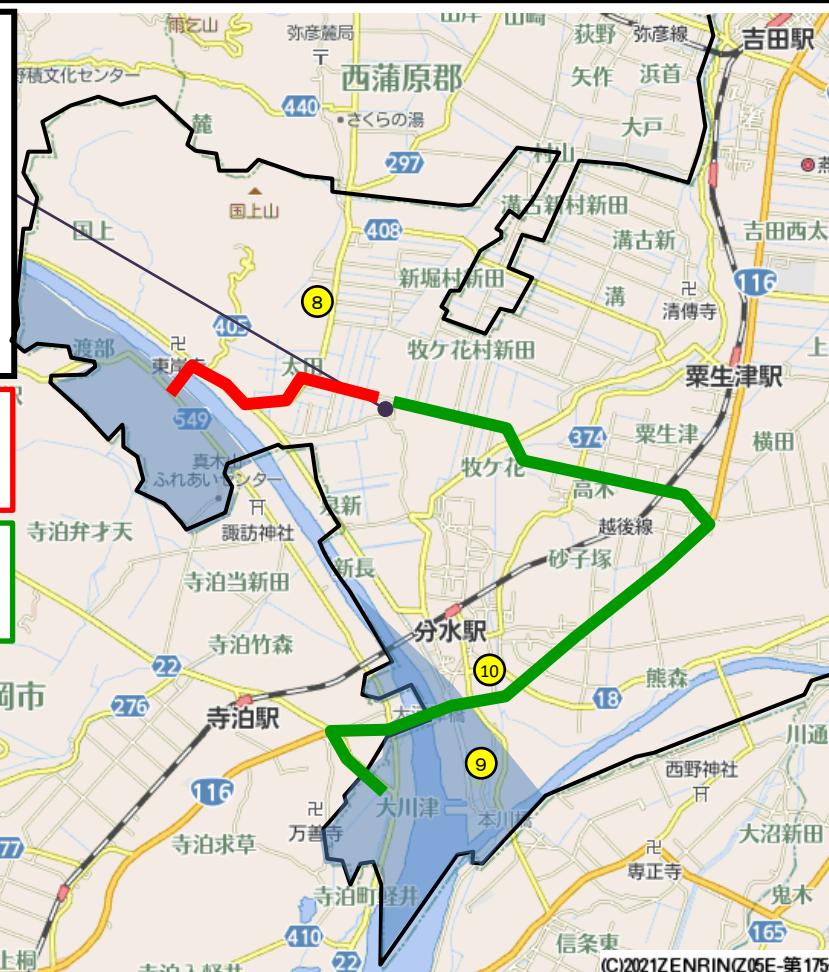
燕市立分水北小学校(収容可能人数: 666人)に避難。

【主な経路①】

県道549号→県道2号→広域農道

【主な経路②】

県道22号→国道116号→広域農道



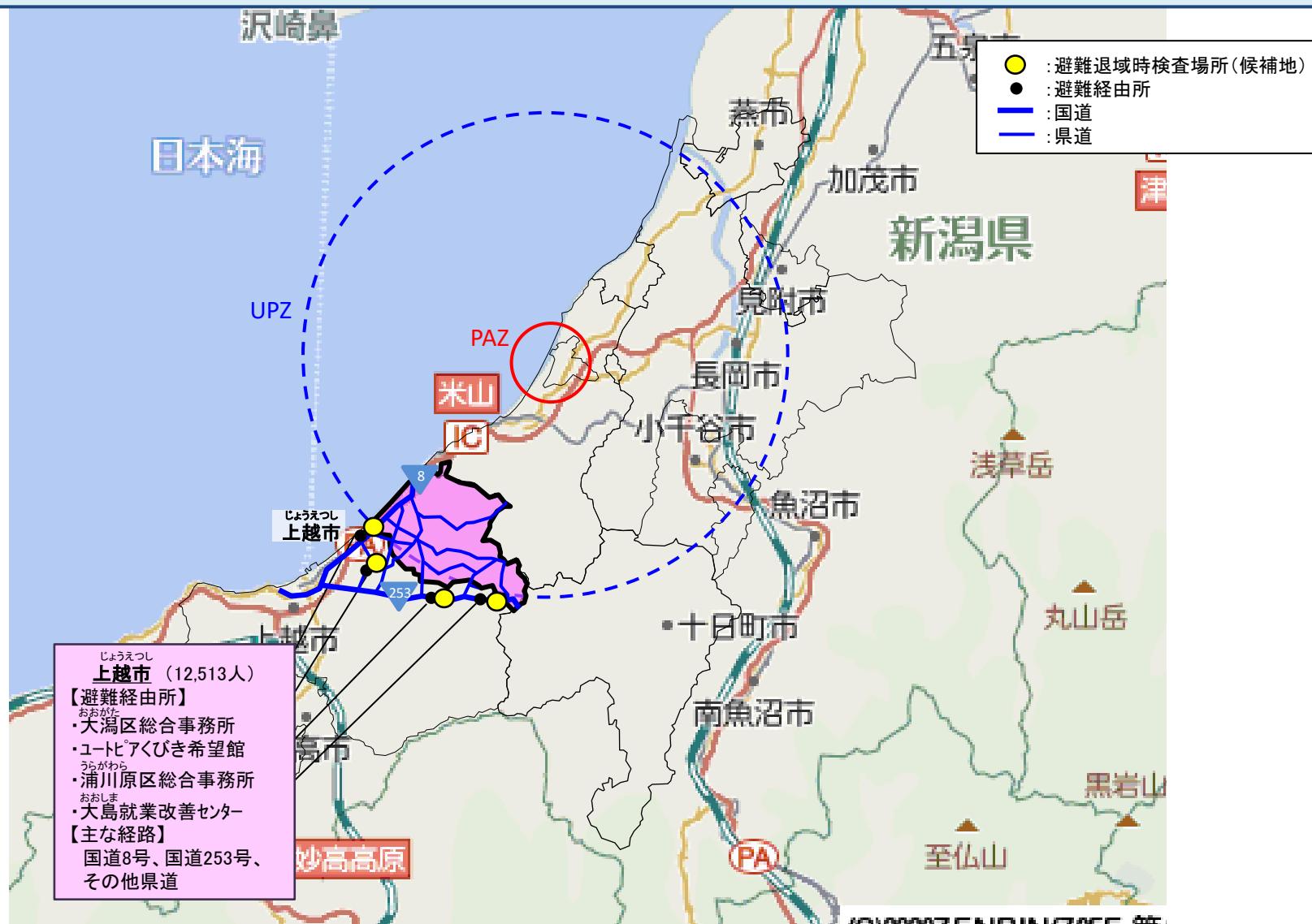
番号	避難退域時検査場所(候補地)
⑧	道の駅 国上
⑨	おおこうづぶんすい 大河津分水さくら公園
⑩	つばめしぶんすい 燕市分水公民館

※ 番号はP145に対応

(●) : 避難退域時検査場所(候補地)
 (●) : 避難経由所

じょうえつし 上越市におけるUPZ内から避難先施設までの主な経路

- ▶ 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等によりその避難経路が使用できない場合は、他の経路により避難を実施。



じょうえつし
上越市 (柿崎区、吉川区地区) におけるUPZ内から避難先施設までの主な経路

- 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等によりその避難経路が使用できない場合は、他の経路により避難を実施。

対象地区

- 上越市: 柿崎区(8,457人)、吉川区(3,441人) (計11,898人)

避難先: 上越市(UPZ外)

避難経由所

ユートピアくびき希望館



115施設(収容可能人数: 42,510人)から、
新潟県と上越市が調整の上、決定。

【主な経路①】

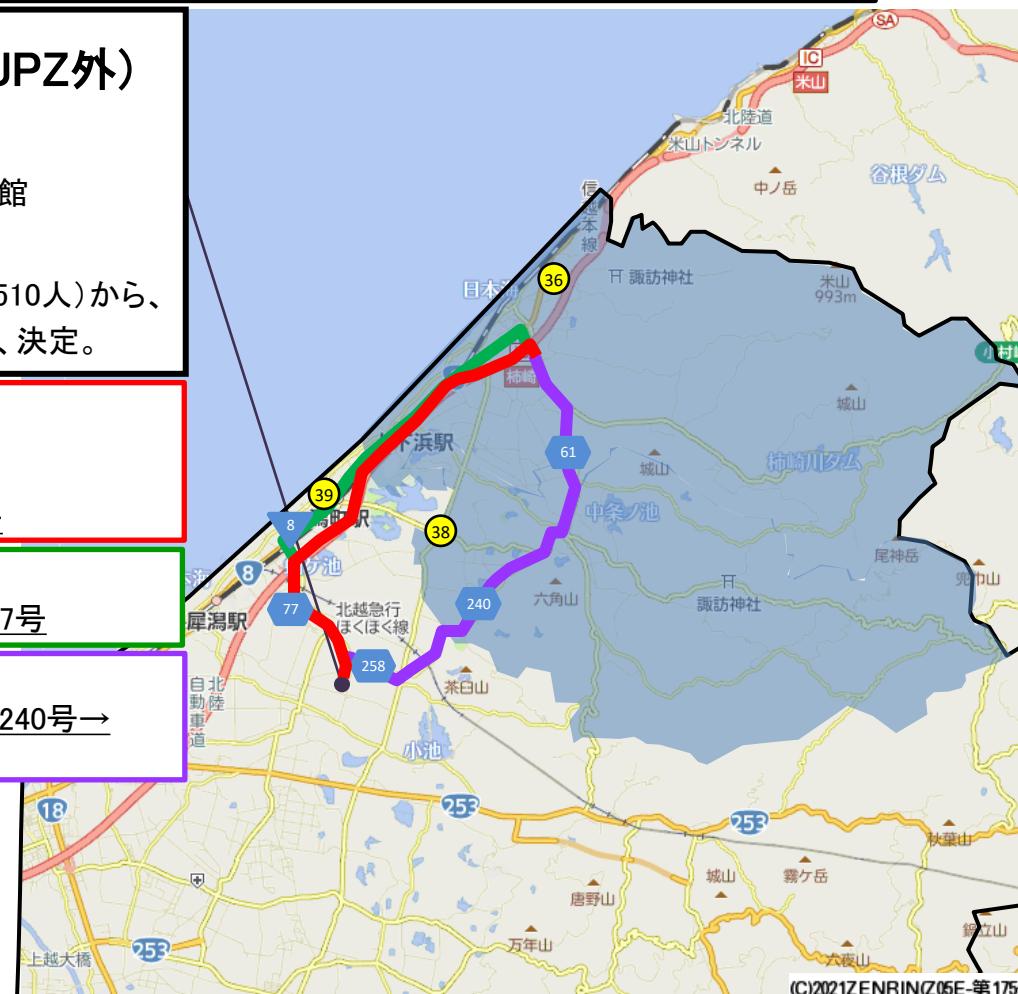
柿崎IC→北陸自動車道→
大潟PA(スマート)→県道77号

【主な経路②】

県道25号→国道8号→県道77号

【主な経路③】

県道61号→県道78号→県道240号→
県道258号→県道77号



番号	避難退域時検査場所(候補地)
36	柿崎総合運動公園
38	道の駅 よしかわ杜氏の郷 長峰温泉ゆったりの郷
39	大潟区総合事務所 大潟地区公民館

※ 番号はP145に対応

● : 避難退域時検査場所(候補地)
● : 避難経由所

じょうえつし
上越市（浦川原区地区）におけるUPZ内から避難先施設までの主な経路

- ▶ 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等によりその避難経路が使用できない場合は、他の経路により避難を実施。

対象地区

じょうえつし うらがわら

- ▶ 上越市:浦川原区（計2人）

避難先:上越市(UPZ外)

避難経由所

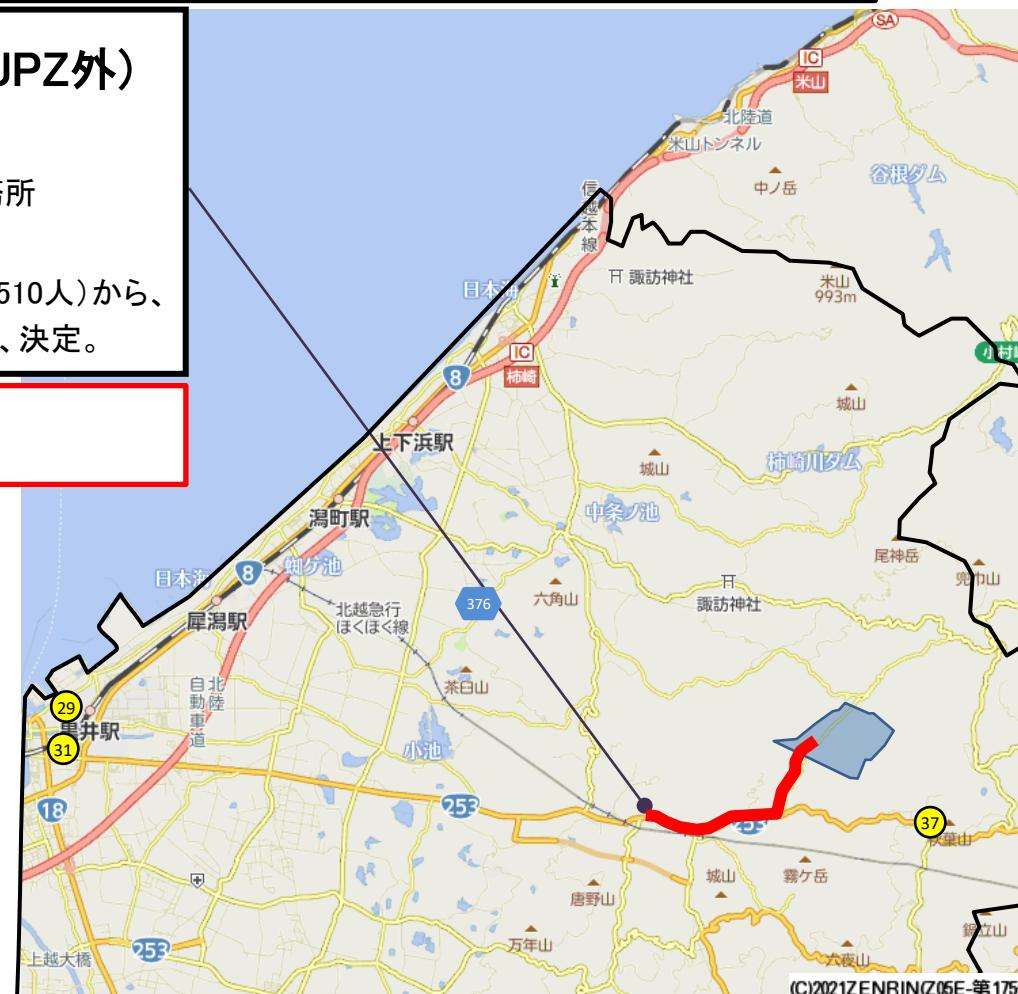
うらがわら
浦川原区総合事務所



115施設(収容可能人数:42,510人)から、
新潟県と上越市が調整の上、決定。

【主な経路①】

国道376号→国道253号



番号	避難退域時検査場所(候補地)
㉙	なおえつ 直江津港南ふ頭緑地公園 (直江津みなと風車公園)
㉛	南部産業団地
㉜	おおしま 大島就業改善センター (大島地区公民館) おおしま 大島区総合事務所

* 番号はP145に対応

● : 避難退域時検査場所(候補地)
● : 避難経由所

じょうえつし
上越市 (大島区地区) におけるUPZ内から避難先施設までの主な経路

- 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等によりその避難経路が使用できない場合は、他の経路により避難を実施。

対象地区

- じょうえつし おおしま
➤ 上越市: 大島区 (計148人)

じょうえつし
避難先: 上越市(UPZ外)

避難経由所

おおしま おおしま
大島就業改善センター(大島地区公民館)



115施設(収容可能人数:42,510人)から、
新潟県と上越市が調整の上、決定。

【主な経路①】

県道78号→県道13号→国道253号



番号	避難退域時検査場所(候補地)
㉙	なおえつ 直江津港南ふ頭緑地公園 なおえつ (直江津みなと風車公園)
㉛	南部産業団地
㉜	おおしま 大島就業改善センター おおしま (大島地区公民館) おおしま 大島区総合事務所
※	番号はP145に対応

● : 避難退域時検査場所(候補地)
● : 避難経由所

じょうえつし 上越市（大潟区地区）におけるUPZ内から避難先施設までの主な経路

- ▶ 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等によりその避難経路が使用できない場合は、他の経路により避難を実施。

対象地区

- ▶ 上越市: 大潟区 (計465人)

避難先: 上越市(UPZ外)

避難経由所

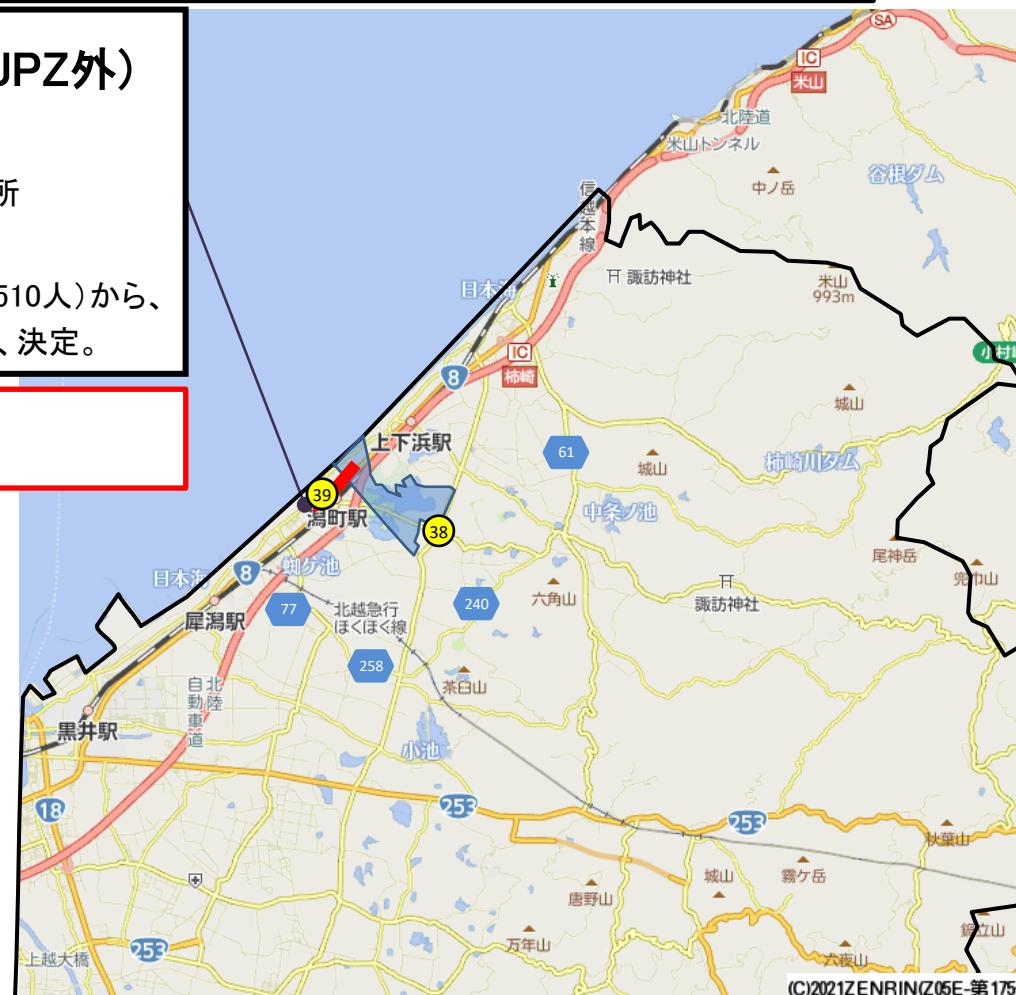
大潟区総合事務所



115施設(収容可能人数: 42,510人)から、
新潟県と上越市が調整の上、決定。

【主な経路①】

国道8号



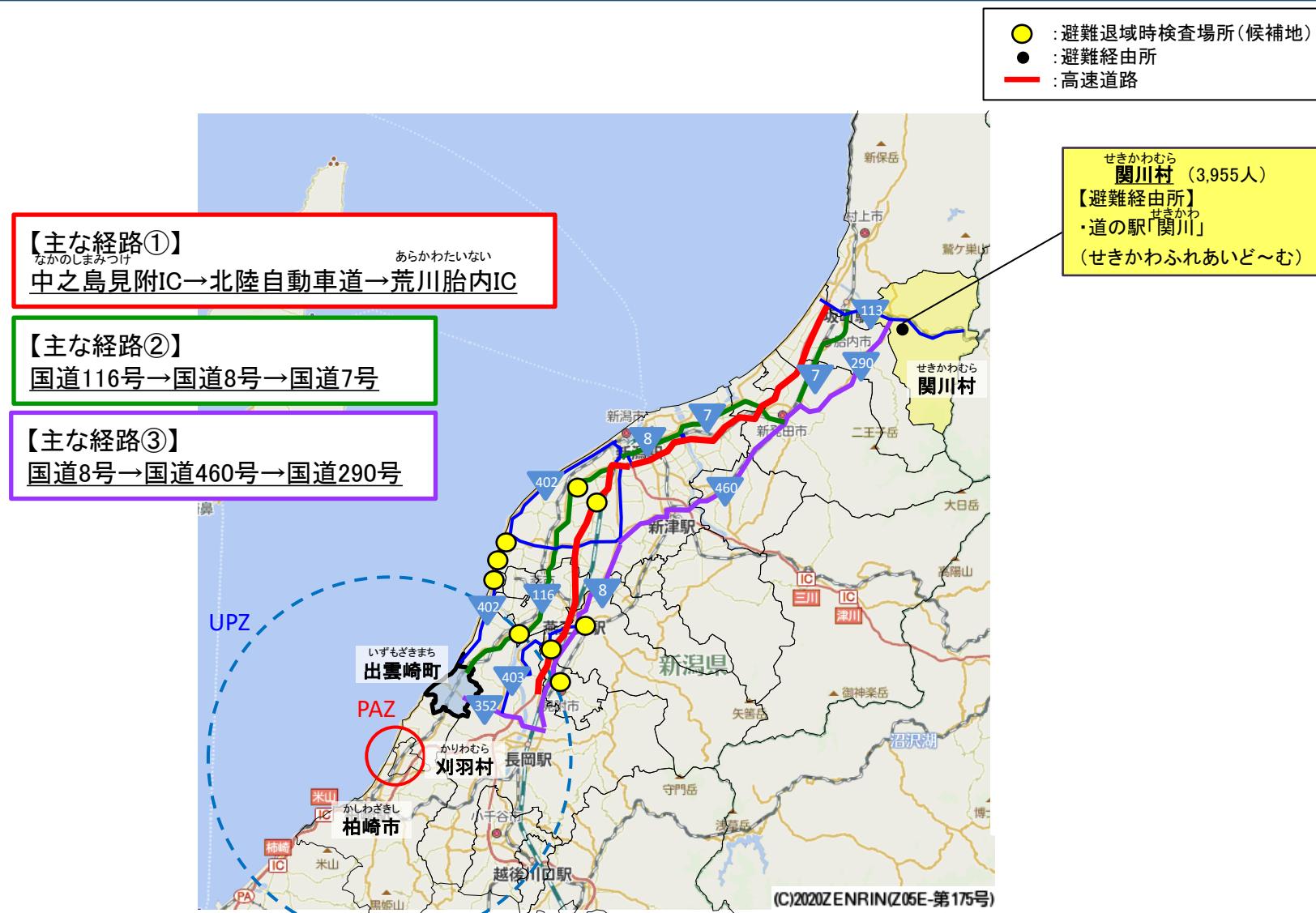
番号	避難退域時検査場所(候補地)
③⑧	道の駅よしかわ杜氏の郷 長峰温泉ゆったりの郷
③⑨	大潟区総合事務所 大潟地区公民館

※ 番号はP145に対応

- : 避難退域時検査場所(候補地)
- : 避難経由所

出雲崎町におけるUPZ内から避難先施設までの主な経路

- 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等によりその避難経路が使用できない場合は、他の経路により避難を実施。



出雲崎町（全域）におけるUPZ内から避難先施設までの主な経路

- 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等によりその避難経路が使用できない場合は、他の経路により避難を実施。

対象地区

▶ いざもざきまち 出雲崎町:全町(計3,955人)

避難先：関川村

避難経由所

道の駅「関川」(せきかわふれあい ど～む)

5施設(収容可能人数:6,050人)から
新潟県と関川村が調整の上、決定。

【主な経路①】

国道352号→国道403号→県道20号→

なかのしまみつけ
国道9号→中之島貝附に→

北陸自動車道→日本海東北自動車道→

あらかわたいない
荒川胎内IC→国道113号

【主な経路②】

国道116号→国道8号→ 国道7号→

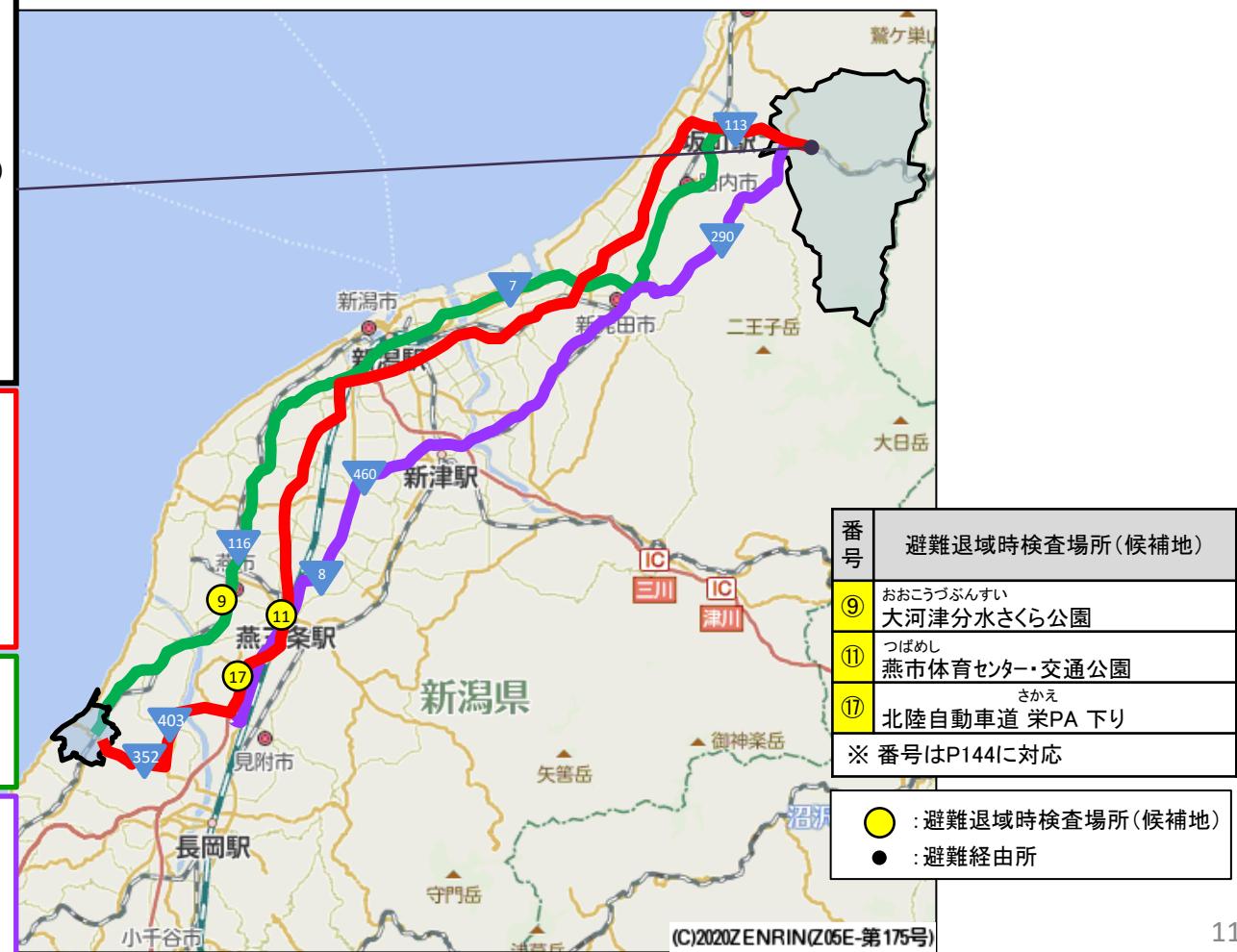
国道113号

【主な経路③】

国道352号→国道403号→県道20号→

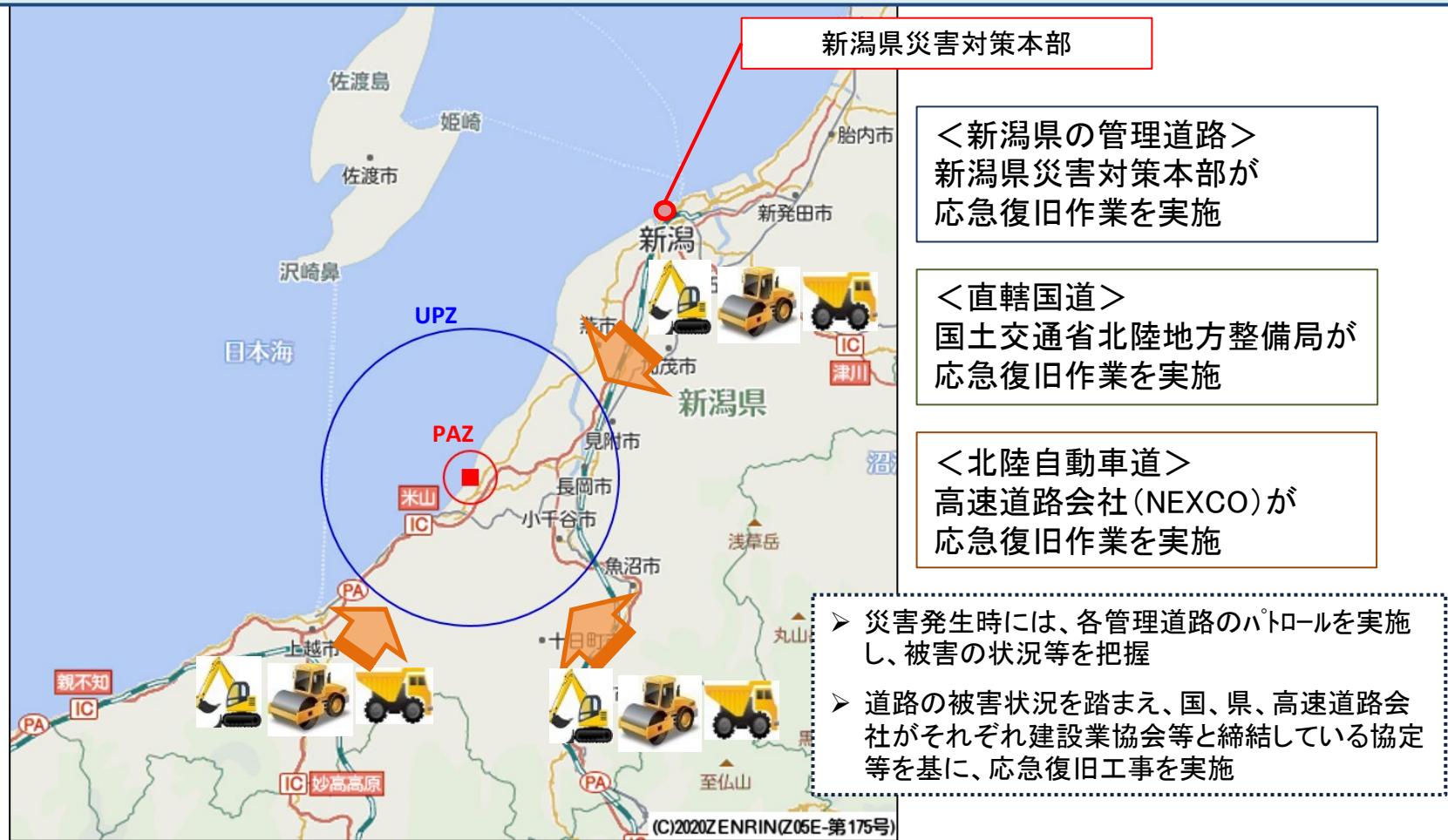
国道8号→国道460号→国道290号→

国道113号



自然災害により道路が通行不能な場合の復旧策（自然災害対応）

- 避難開始前の段階において、避難計画で避難経路として定められている道路が、自然災害により使用できない場合、新潟県、柏崎市及び刈羽村は、代替経路を設定とともに、道路管理者は復旧作業を実施。
- また、UPZの関係市町村においても同様に、避難経路が自然災害等により使用出来ない場合には、代替経路を設定とともに、道路管理者は復旧作業を実施。
- 直轄国道及び高速道路については、国土交通省北陸地方整備局及び高速道路会社(NEXCO)が、早急に被害状況を把握し、迅速かつ的確な道路啓開、仮設等の応急復旧を行い、早期の道路交通の確保等に努める。

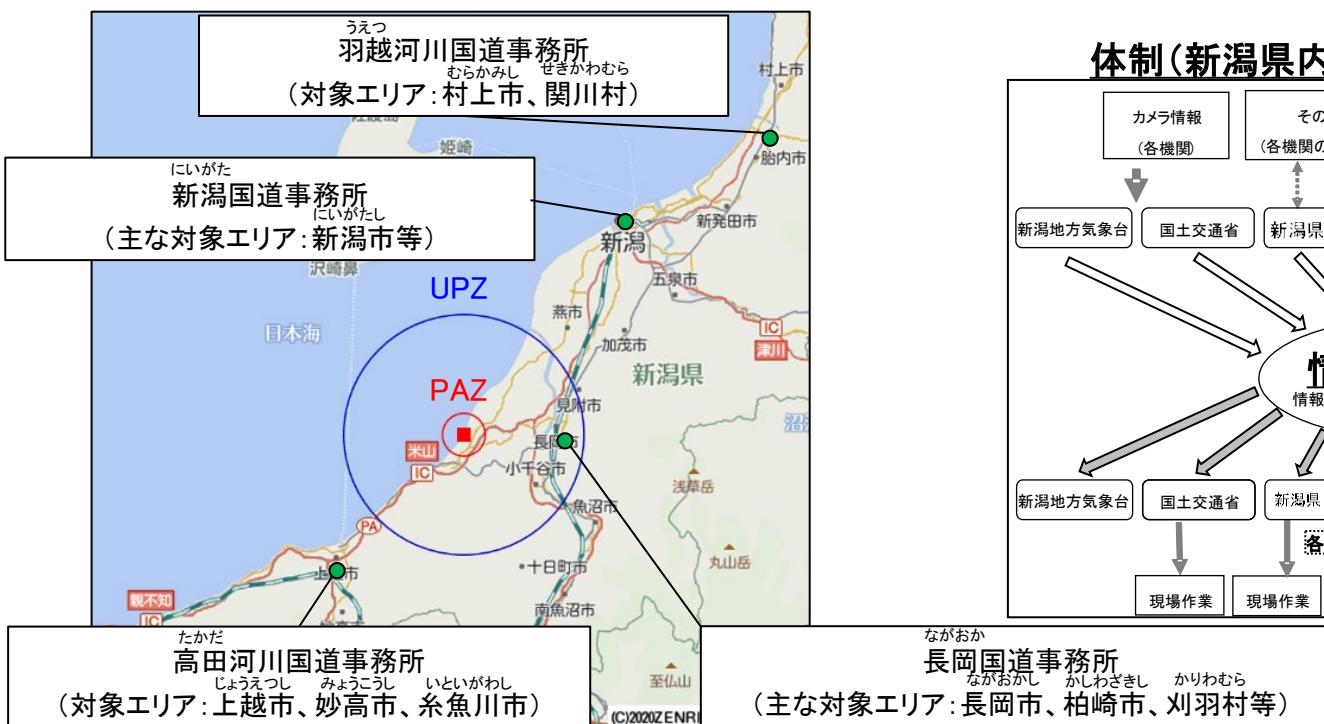


※ 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合など、関係自治体の要請により実動組織（警察、消防、海保庁、自衛隊）が必要に応じ支援を実施。

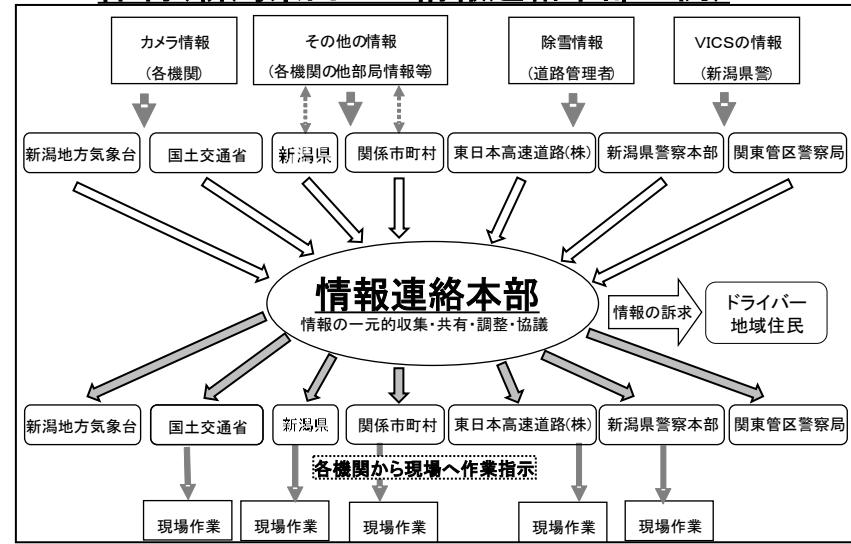
豪雪時における除雪体制（自然災害対応）

- 豪雪時における除雪計画、広報計画の調整等を目的とし、以下の措置を実施。
- 道路管理者、警察、気象台、利用者団体等から構成される情報連絡本部を、羽越河川国道事務所、高田河川国道事務所、新潟国道事務所、長岡国道事務所に設置し、情報を一元化。
- 道路管理者は、集中的な大雪時に備えて、他の道路管理者をはじめ、地方公共団体その他関係機関と連携して、地域特性や降雪の予測精度を考慮し、地域や道路ネットワーク毎に関係者と調整の上、タイムラインを策定。
- 令和4年12月長岡・柏崎地域の大雪を踏まえ、国道及び高速道路において、大雪などの自然災害（豪雪）に対し、人命を最優先に大規模な車両滞留を回避すべく、関係機関が緊密に連携し、出控え等の行動変容の呼びかけや、国道・高速道路の同時通行止めによる集中除雪等により早期交通確保等を図るほか、通行止め等の最小化に向けた雪に強い道路づくり等により冬期道路交通確保を行う。（第2回 令和4年度新潟県内の冬期道路に関する対策検討会 会議資料P28参照）

＜新潟県における情報連絡本部（例）＞



体制（新潟県内での情報連絡本部の例）



長岡国道事務所
(主な対象エリア: 長岡市、柏崎市、刈羽村等)

新潟県における降雪時の避難経路の確保（自然災害対応）

- ▶ 新潟県は北陸地方整備局や関係機関等との協議を踏まえ、毎年度「雪害予防計画」を定め、短期間の集中降雪による局地的大雪の発生等に柔軟に対応できる体制を整備。
 - ▶ 新潟県、関係市町村、北陸地方整備局及び高速道路会社(NEXCO)は、各機関の除雪計画に基づき、適切な除雪、凍結防止等の対策を行い、冬期間の交通の確保等に努める。

除雪機器の保有台数	令和6年11月時点
国(北陸地方整備局)※1	242台
新潟県	758台
関係市町村(柏崎市、刈羽村、長岡市、小千谷市、十日町市、見附市、燕市、上越市、出雲崎町)※2	1,172台
高速道路会社(NEXCO)	206台

*1 新潟県内の配備数

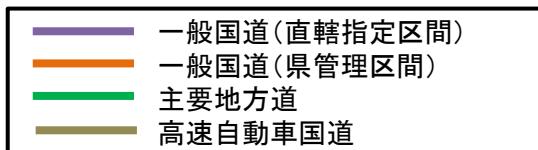
※2 関係市町村の台数には、民間所有のものも含まれる。

【除雪分担】

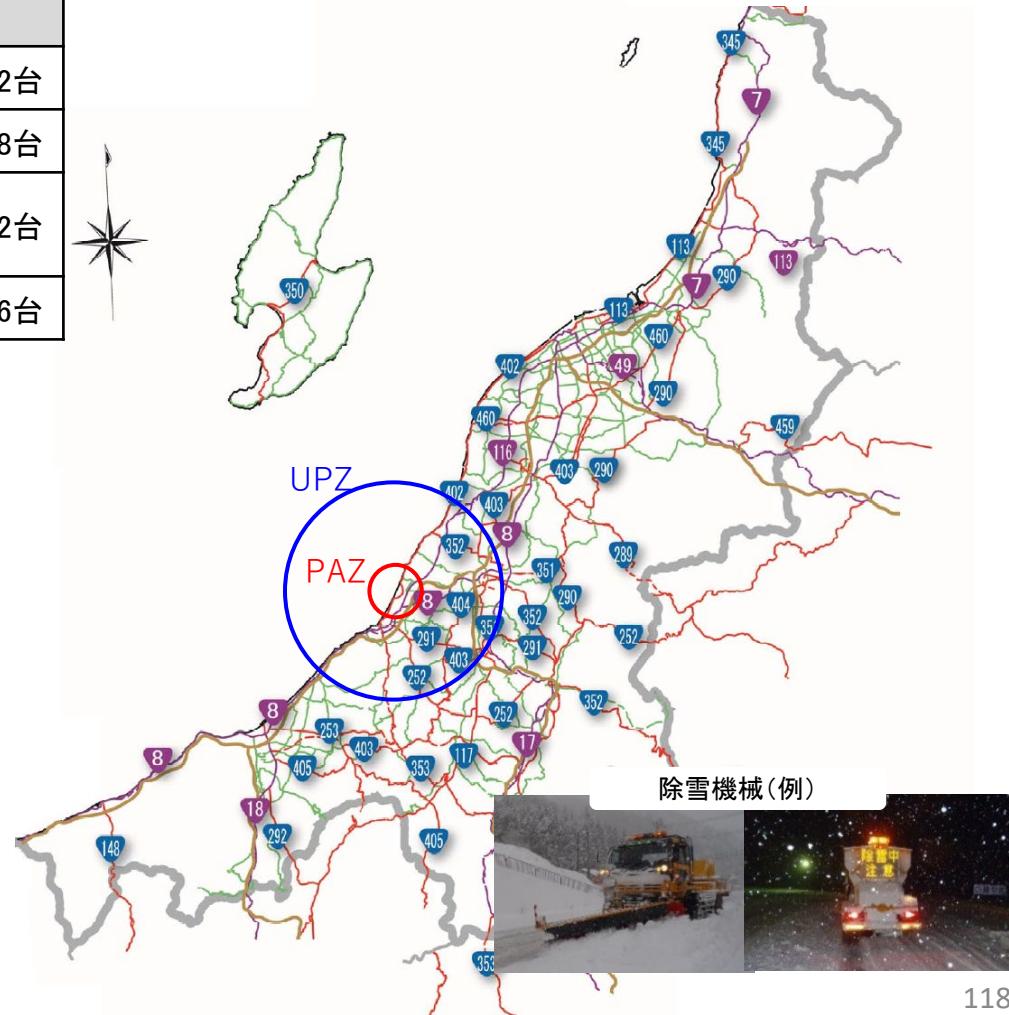
- 一般国道のうち直轄指定区間：北陸地方整備局
 - 一般国道のうち県管理区間：新潟県
 - 県道：新潟県
 - 市町村道：市町村
 - 高速道路：東日本高速道路株式会社

【除雪出動(判断)基準】

- 10cm以上の降雪が予想されるとき又は積雪深10cm以上を観測した時 等



出典:新潟県の道路2020



7. 放射線防護資機材、物資、 燃料の備蓄・供給体制

PAZ内防護措置に備えた放射線防護資機材の備蓄体制

- 新潟県は、PAZ内の防護対策を担う自治体職員、警察・消防職員（消防団員を含む）のほか、バス会社等の運転者、放射線防護対策施設の施設管理者等向けに防護服・個人線量計等の放射線防護資機材を備蓄。
- 緊急時には、自治体職員や避難誘導者等が、これらの放射線防護資機材を用いて活動を実施。
- 平時にはこれらの使用方法に関する訓練・研修を定期的に実施。



サーベイメータ(GM管)



個人線量計

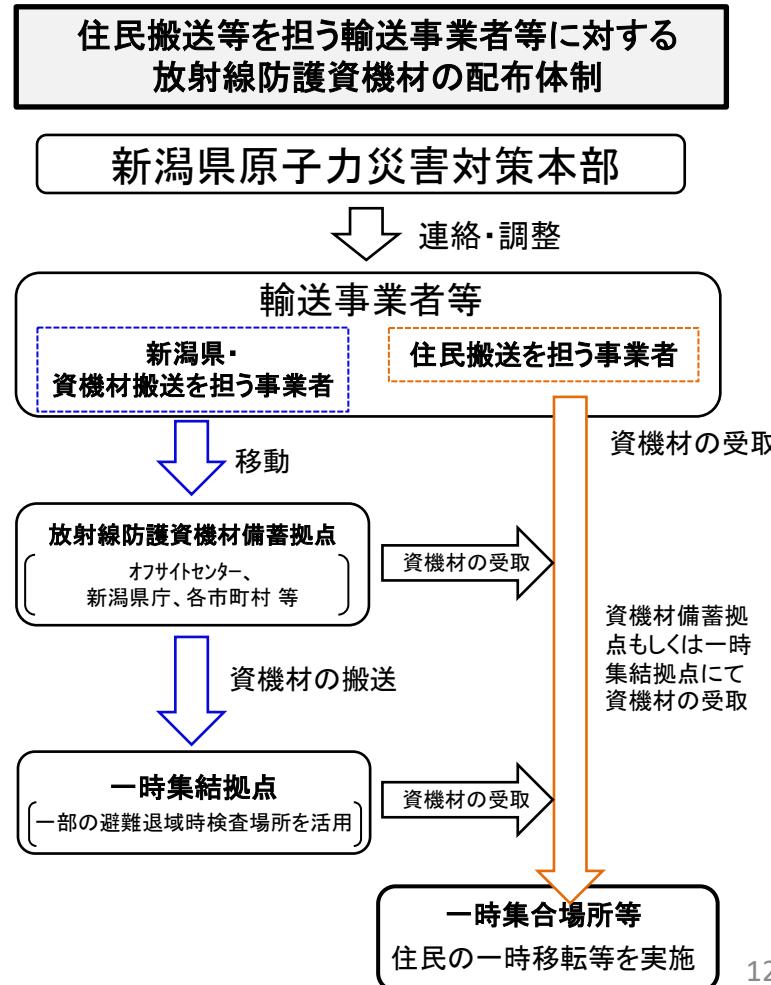


タイベックスーツ

備蓄拠点	対象者
オフサイトセンター かしわざき 柏崎地域振興局 かしわざき 柏崎市役所 かしわざきしにしやまちょう 柏崎市西山町事務所 かしわざき 柏崎市消防本部 かりわむら 刈羽村役場	自治体職員、避難誘導者、 バス運転者、消防職員、 消防団員等防災関係者

UPZ内防護措置に備えた放射線防護資機材の備蓄・供給体制

- UPZ内住民の一時移転等において住民搬送を担う輸送事業者等には、原則、放射線防護資機材備蓄拠点や緊急時に設置する一時集結拠点(一部の避難退域時検査場所を活用)で放射線防護資機材を配布。
- 一時集結拠点等では、放射線防護資機材の使用方法に関する説明のほか、避難者搬送等の業務が、モニタリングポートにおける直近の観測結果等を基に、被ばく線量の管理目安である積算1mSvを下回ることをあらかじめ確認。
- また、PAZ同様、平時から放射線防護資機材の使用方法に関する訓練・研修を定期的に実施。



原子力事業者による放射線防護資機材等の支援体制

- 原子力事業者は、放射線防護資機材を各原子力事業者で支援をするため、「原子力災害時における原子力事業者間協力協定」の内容を充実させて締結。
- 原子力災害発災後の避難・一時移転等において、放射線防護資機材等が不足する場合、原子力事業者は、保有する資源(要員・資機材等)を最大限供給し支援する。

原子力災害時における原子力事業者間協力協定※（平成26年10月10日）

【協定事業者】

北海道電力、東北電力、東京電力ホールディングス、中部電力、北陸電力、関西電力、中国電力、四国電力、九州電力、日本原子力発電、電源開発、日本原燃

【目的】

原子力災害時における原子力事業者間協力の円滑な実施を図り、原子力災害の拡大防止及び早期復旧の一翼を担うことを目的とする。

【協力活動の範囲】

原子力災害時の周辺地域の環境放射線モニタリング及び周辺区域の汚染検査・汚染除去に関する事項について、協力要員の派遣・資機材の貸与その他の措置 等

主な備蓄資機材

資機材	数量
サーベイメータ(GM管)	360台
個人線量計	1,000個
全面マスク	1,000個
タイベックスーツ	30,000着



サーベイメータ(GM管)



個人線量計



全面マスク



タイベックスーツ

※この他に、「東北電力」「中部電力・北陸電力」「日本原子力発電」と地理的近接性などの観点から相互協力を合意済み。

新潟県及び関係市町村における行政備蓄

- 緊急時に備え、関係市町村では、食料及び生活物資等の備蓄を実施。万が一不足等が生じる事態となった場合、新潟県が調整を行い、県内全市町村や物資供給等に関する協定を締結している民間事業者等の協力を得て、食料及び生活物資等を融通する体制を整備。
- 放射線防護対策施設においては、約2,000人が生活できる食料及び生活物資等3~7日分を備蓄。

新潟県及び関係市町村の生活物資の備蓄状況※2（令和6年11月1日時点）

	新潟県	かしわざきし 柏崎市	かりわむら 刈羽村	ながおかし 長岡市	おぢやし 小千谷市	とおかまちし 十日町市	みつけし 見附市	つばめし 燕市	じょうえつし 上越市	いづもざきまち 出雲崎町	合計※3
食料品 (食)	76,492	18,266	1,060	16,843	10,310	20,496	12,064	10,220	45,917	5,746	217,414
飲料水 (リットル)	40,008	10,326	1,656	12,267	8,256	2,165	7,380	4,509	36,222	2,028	124,817
携帯トイレ (袋)	179,400	6,728	8,710	54,870	1,800	70,000	960	35,750	257,969	0	616,187
毛布 (枚)	16,500	1,270	1,004	30,727	1,400	1,310	1,110	442	20,940	600	75,303

※1 上記物資備蓄数は概数。また、上記の他に、関係市町村では常備薬、炊き出し用具等、避難生活に必要な物資等を準備している。

※2 上記物資備蓄のほか、災害時に、災害時の物資供給等に関する協定(P124)に基づいて協力を依頼し調達を図る。

なお、他市町村においても、物資等が不足する場合は、同様に協定に基づいて協力を依頼し調達を図る。

※3 原子力事業者についても食料及び生活物資を備蓄(P127参照)。

新潟県における災害時の物資供給等に関する協定の主な締結状況

- 関係市町村及び避難先市町村から物資支援の要請があった場合や要請を待ついとまがないと認められる状況になった場合に備え、新潟県は「災害時における応急生活物資等の協力に関する協定」等を民間企業等と締結。

災害時における物資の供給等に関する協定の主な締結状況

協定の種類	内容	締結民間企業等	市町村	協定の種類・締結民間企業等
新潟県	災害時における物資供給に関する協定	食料品、生活必需品等の供給	(株)ローソン、イオン(株)、(株)ブルボン、(株)ファミリーマート、新潟県生活協同組合連合会、(株)伊藤園、(株)セブンイレブン・ジャパン、(株)イトーヨーカ堂、NPO法人コメリ災害対策センター、(株)原信、(株)パイオテックジャパン、一正蒲鉾(株)、(株)カインズ、(公財)新潟県学校給食会、(株)カワチ薬品、新潟県生活衛生同業組合連合会、新潟県漬物工業協同組合、新潟県パン協同組合、新潟県飲用牛乳協会・新潟県酪農業協同組合連合会、新潟県味噌醤油工業協同組合 等	柏崎市 物資等の供給【NPO法人コメリ災害対策センター、(株)リカフーズ、信越ペプシコーラ販売(株)、(株)クリのアオキ、三国コカ・コーラボトリング(株)、(株)ウォロク、アーケラント・サカモト(株)、(株)北越ケーズ、(一社)新潟県LPガス協会上越支部、(株)伊藤園、(株)ブルボン、(株)イトーヨーカ堂、船山(株)、和光紙器(株) 等】
	災害時等における燃料の供給に関する協定	燃料の供給	新潟県石油業協同組合、(一社)新潟県LPガス協会 等	刈羽村 物資等の供給【中部ペプシコーラ販売(株)、NPO法人コメリ災害対策センター、(株)PLANT】
	災害発生時等の物資の緊急・救援輸送等に関する協定	物資の緊急・救援輸送等	(公社)新潟県トラック協会、赤帽新潟県軽自動車運送協同組合 等	長岡市 物資の供給【長岡薬業協同組合、越後ながおか農業協同組合、(株)原信、(株)セブンイレブン・ジャパン、イオングループ(株)イオン長岡店、NPO法人コメリ災害対策センター、ユニー(株)アピタ長岡店、(株)ウォロク等】
	災害発生時等の物資の保管等に関する協定	物資の保管	新潟県倉庫協会 等	小千谷市 物資等の供給【(一社)新潟県LPガス協会長岡支部、越後おぢや農業協同組合、中部ペプシコーラ販売(株)、NPO法人コメリ災害対策センター、イオングループ(株)イオン小千谷店、コーエイ(株)、(株)アクティオ】
	災害時における医薬品等の供給に関する協定	医薬品等の供給	新潟県医薬品卸組合、東北新潟歯科用品商協同組合、(公社)新潟県薬剤師会、(一社)日本産業・医療ガス協会関東地域本部 等	十日町市 物資等の供給【NPO法人コメリ災害対策センター、(株)イオン(株)、十日町農業協同組合、十日町生鮮食品(株)、(株)セブンイレブン・ジャパン、(株)原信、(株)リオン・トルコホーリー・ショッピング・センター、アーケラント・サカモト(株)ホームセンターモサシ十日町店等】
				見附市 物資等の供給【NPO法人コメリ災害対策センター、(株)アクティオ、(株)ひまわり食品、5日で5000枚の約束。プロジェクト実行委員会、原山化成工業(株)、(株)矢沢ダンボール、(有)エコ・ライス新潟、(株)PLANT】
				燕市 物資等の供給【コカ・コーラ・ライースト・ジャパン(株)、NPO法人コメリ災害対策センター、(株)伊藤園、イオングループ(株)イオン県央店、サントリービバレッジサービス(株)、大塚食品(株)、ダイドードリンコ(株)、アクシアリティーリング(株) 等】
				上越市 物資の供給【コカ・コーラ・ライースト・ジャパン(株)、イオングループ(株)イオン上越店、NPO法人コメリ災害対策センター、アクシアリティーリング(株)、(株)イチコ、上越ケンパン(株) 等】
				出雲崎町 物資の供給【NPO法人コメリ災害対策センター、(株)アクティオ、(株)伊藤園、コカ・コーラ・ライースト・ジャパン(株)、吉沢工業(株) 等】

※ 法人名等は協定締結当時の名称

PAZ内避難時の物資備蓄・供給体制

- PAZ内からの避難住民の受け入れ時には、受入先自治体による備蓄のほか、新潟県、柏崎市及び刈羽村による備蓄、さらには新潟県、柏崎市及び刈羽村と災害時協定を締結している指定業者等からの流通備蓄、日本赤十字社新潟県支部に備蓄された物資(食料等の生活用品)等を、(公社)新潟県トラック協会等の協力を得て、避難施設に搬送する。
- 新潟県及び関係市町村が備蓄している物資が不足する場合、新潟県から、国の原子力災害対策本部に対し物資調達の要請を行う。



	協定の種類	内容
新潟県	災害時における物資供給に関する協定 ほか4協定	災害発生時における応急生活物資等の供給、輸送、保管
柏崎市	災害時における物資供給に関する協定	災害発生時における応急生活物資等の供給
刈羽村	災害時等における物資の供給協力に関する協定 ほか1協定	災害時等における生活物資の供給

※詳細はP124参照

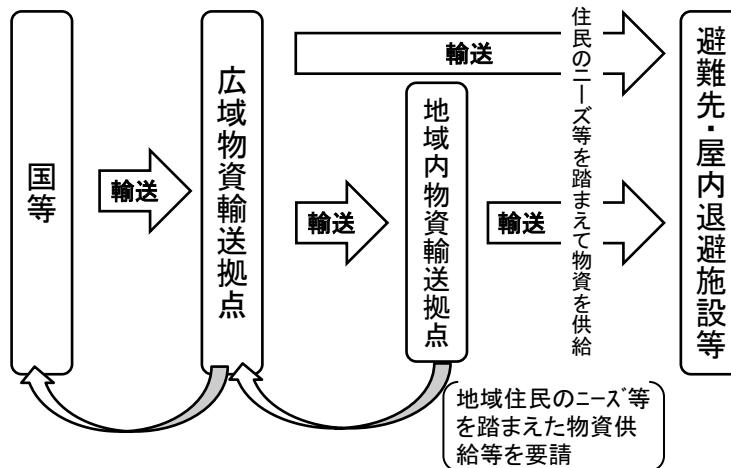
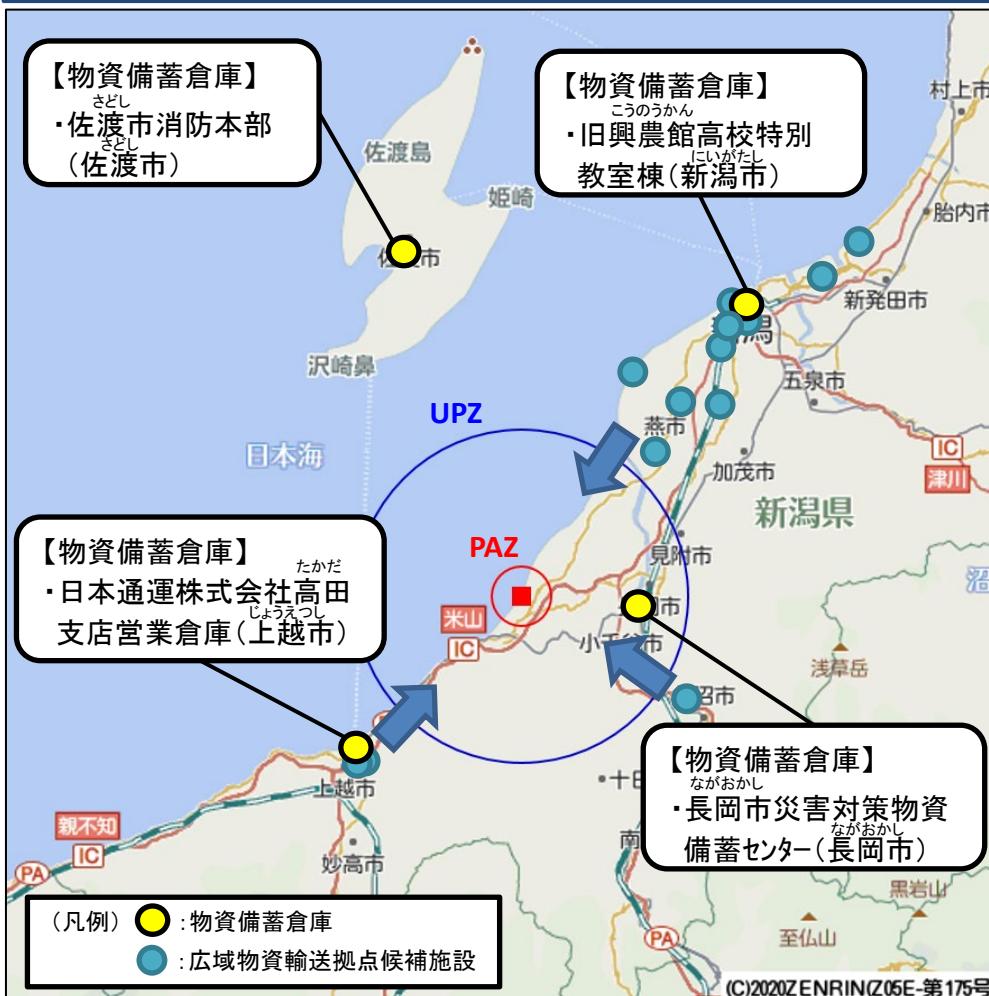
避難元自治体による流通備蓄

- 食料品、飲料水、日用品、衣料品
- その他柏崎市及び刈羽村が指定する物資

※物資備蓄数は概数

新潟県における物資の調達・供給

- 国や他都道府県等からの大量の支援物資を円滑に受入れ・仕分けし、地域内物資輸送拠点等に迅速に輸送するため、物資を集積する広域物資輸送拠点を設定※。広域物資輸送拠点では、市町村の要求を踏まえて必要な食料や物資を分別し、地域内物資輸送拠点や住民の避難先等に輸送。
※新潟県にて指定している広域物資輸送拠点候補施設の他にも、協定等に基づき、倉庫協会に所属する倉庫業者の倉庫や、その他物流施設等も物流拠点として活用。
- 地域内物資輸送拠点では、広域物資輸送拠点から輸送された物資を地域住民の状況を踏まえて供給。あわせて、地域住民のニーズ等を踏まえた物資供給に関する各種要請を行う。
- 広域物資輸送拠点・地域内物資輸送拠点は、防災業務関係者への災害関係情報の提供拠点としても活用。



広域物資輸送拠点 (県内14候補施設)

- 避難・屋内退避住民に対する政府等の供給食料・物資の集積
- ボランティア団体等による食料・物資の集積
- オ福サト対応で必要となる放射線防護資機材
- 追加で必要となる緊急時モニタリング資機材及び放射線防護資機材
- 災害関係情報(道路情報、緊急時モニタリング情報) 等

地域内物資輸送拠点

- 避難先住民や屋内退避住民への食料・物資の供給
- 地域住民のニーズ等を踏まえた物資供給等に関する各種要請
- 災害関係情報(道路情報、緊急時モニタリング情報) 等

原子力事業者による生活物資等の支援体制

- ▶ 東京電力ホールディングス(株)では、災害時に新潟県及び関係市町村が備蓄する生活物資が不足する場合に備え、近隣の電力所に備蓄している食料、生活物資等を支援する備蓄体制を整備。
 - ▶ さらに、近隣以外の本社等に備蓄している生活物資について出来る限り支援する。
 - ▶ 物資等の輸送に関しては、東京電力ホールディングス(株)が非常災害時に備えて、日常から物流業務を委託している民間業者と締結した資機材全般の輸送に係る協定を活用する。

生活物資の備蓄状況

	食料品 (食)	飲料水 (リットル)	毛布 (枚)
合計	60,000	60,000	3,000

※ 令和7年2月時点

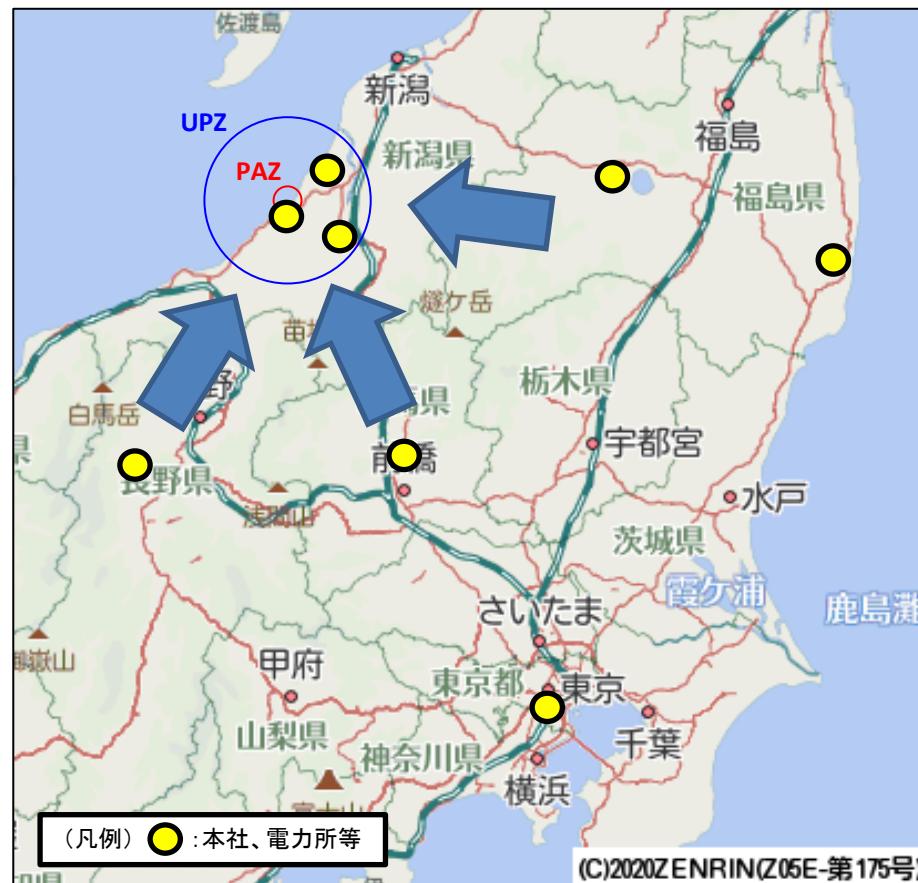
※ 物資の供給は、新潟県からの要請に基づき、本社等に備蓄されている物資を総合的に運用のうえ、要請に対応。

※ 上記備蓄数でも不足する場合は、必要に応じて流通物資を活用して生活物資の確保に努める。

※ その他、携帯トイレ等についても備蓄をしている。

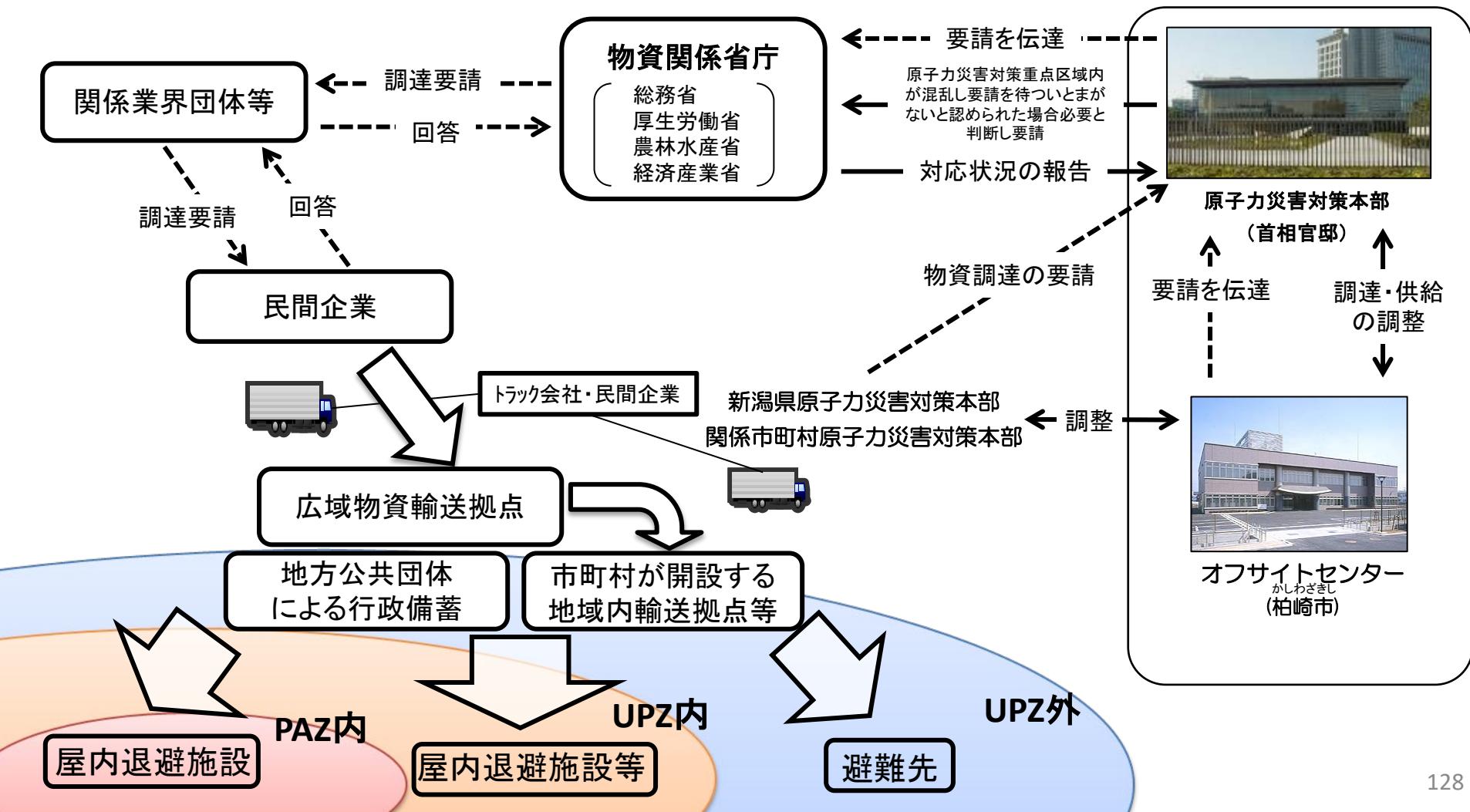
災害時における物資の輸送に関する協定等の締結状況

協定の種類	内容	締結民間企業等
災害発生時における資機材運搬に関する協定	輸送車両の優先利用等	関東圏域の民間業者



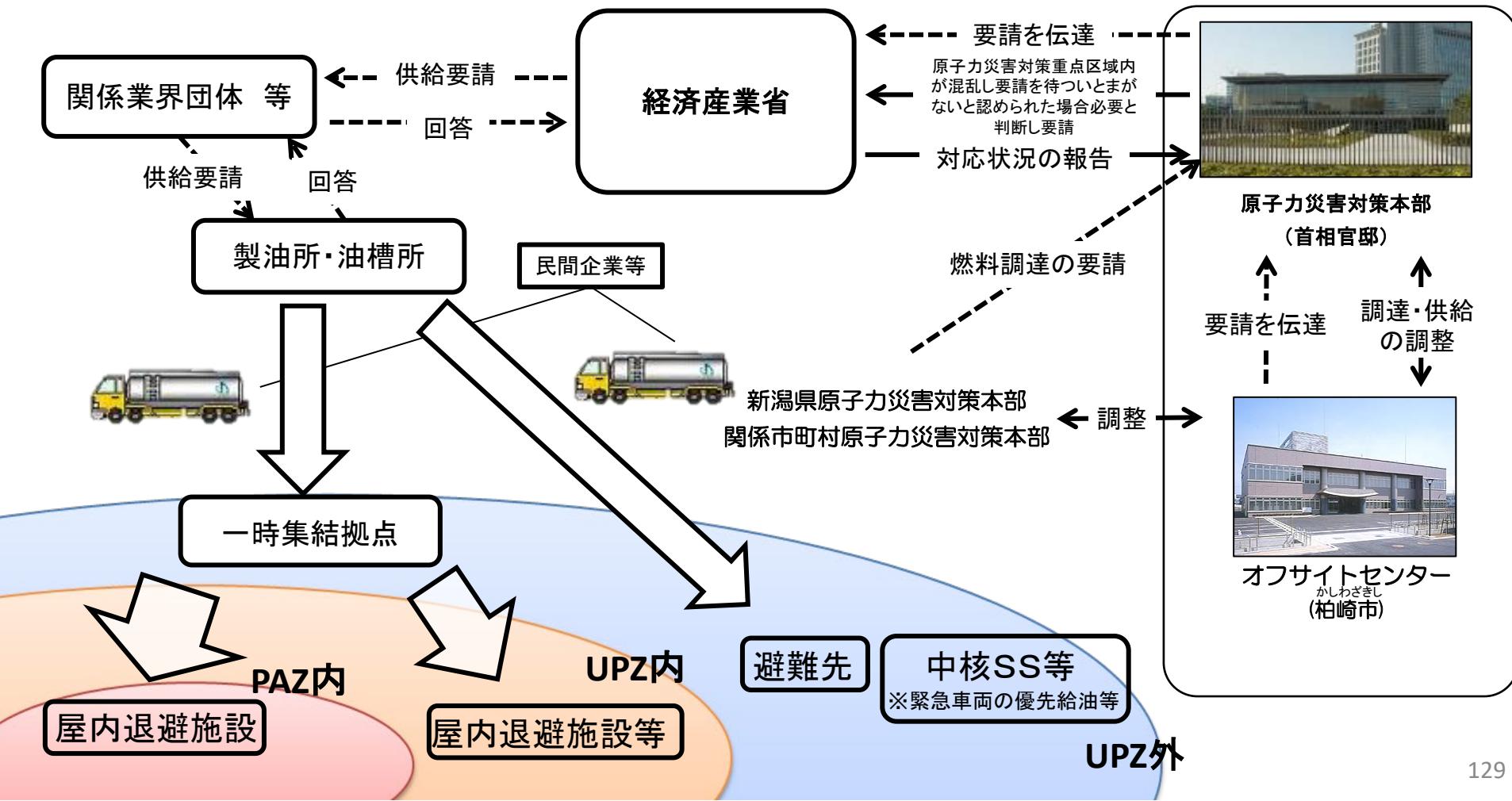
国による物資（食料等の生活用品等）の供給体制

- 新潟県及び関係市町村が備蓄している物資が不足する場合、国の原子力災害対策本部に対し物資調達の要請を行う。
- 要請を受けた、または原子力災害対策重点区域内が混乱し要請を待つとまがないと認められた場合等、国の原子力災害対策本部は、物資関係省庁（総務省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省）に対しこの要請を伝達、または要請し、各物資関係省庁は所管する関係業界団体等に調達要請を実施し、地域内物資輸送拠点への物資搬送を行う。



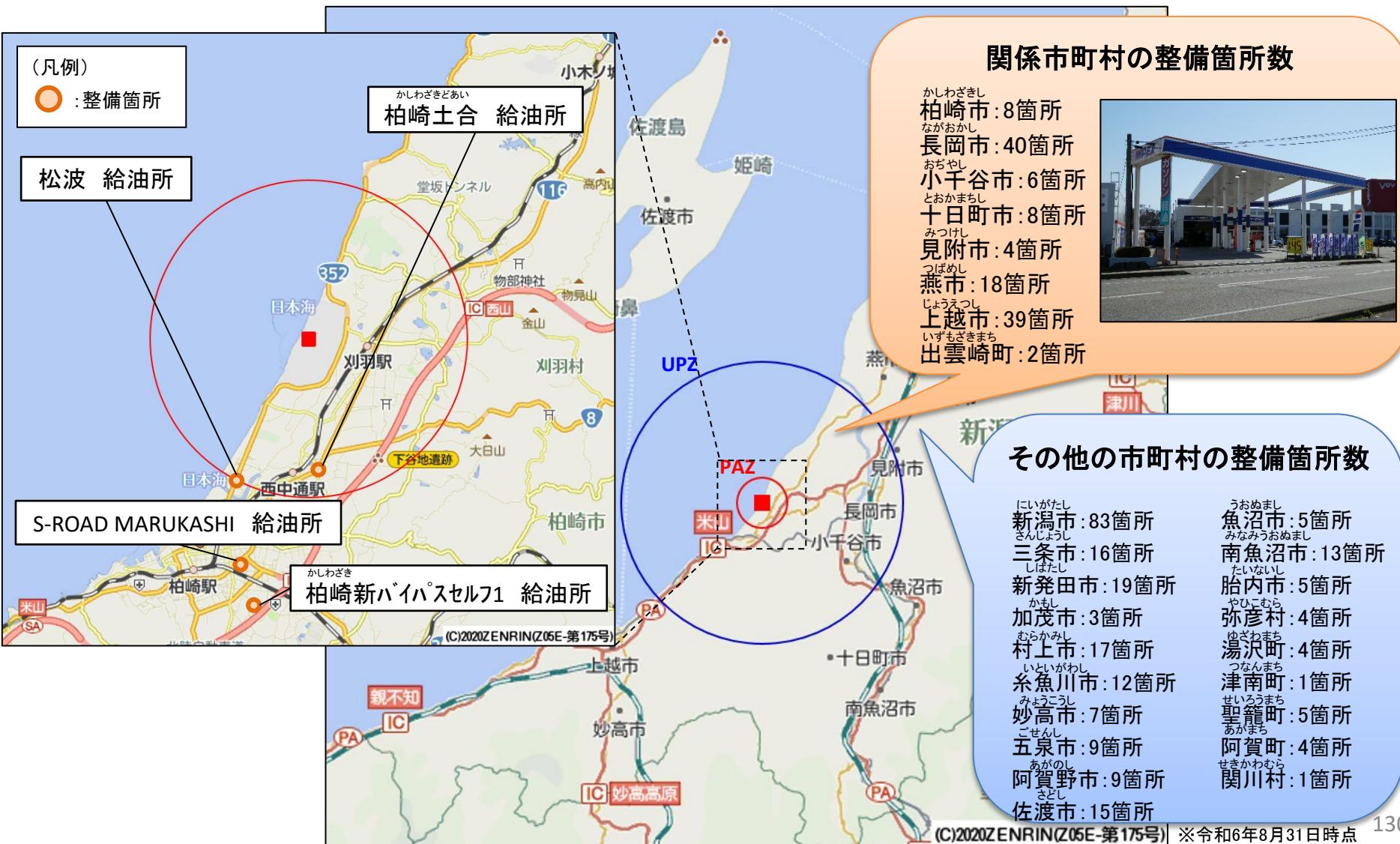
国による物資（燃料）の供給体制

- 新潟県及び関係市町村が備蓄している燃料が不足する場合、国の原子力災害対策本部に対し燃料調達の要請を行う。
- 要請を受けた、または原子力災害対策重点区域内が混乱し要請を待ついとまがないと認められた場合、国の原子力災害対策本部は、経済産業省に対しこの要請を伝達、または要請し、経済産業省は所管する関係業界団体等に調達要請を実施し、原則として製油所・油槽所から一時集結拠点又は避難先等への搬送を行う。



災害による停電時の燃料供給拠点について

- 国は、自家発電設備を備え、災害による停電時にも地域の住民の方々に継続して給油を行うことができる「住民拠点サービスステーション」を、新潟県に合計357箇所整備済み。
 - 災害による停電時には、これらの住民拠点サービスステーション等を拠点とし、燃料供給を行う。



主な物資の種類と担当省庁、関係業界団体

- ▶ 被災者の生活の維持のために必要な物資(食料等の生活用品等)の調達・供給は、防災基本計画に基づき実施。

物資の種類	担当省庁	主要緊急物資	主な関係業界団体等
給水	国土交通省	飲料水(応急給水)	周辺自治体水道局
医薬品等	厚生労働省	一般薬、紙おむつ、マスク 等	日本OTC医薬品協会、日本製薬団体連合会、日本医療機器産業連合会、日本医薬品卸売業連合会 等
食料等	農林水産省	パン、即席めん類、おにぎり、缶詰 等	各種食品産業関係団体 等
生活必需品	経済産業省	仮設トイレ、トイレットペーパー、毛布 等	(一社)ジャパン・レンタル・アソシエーション、日本家庭紙工業会、日本毛布工業組合 等
燃料(石油・石油ガス等)		ガソリン、軽油 等	石油連盟、全国石油商業組合連合会、(独)エネルギー・金属鉱物資源機構(JOGMEC) 等

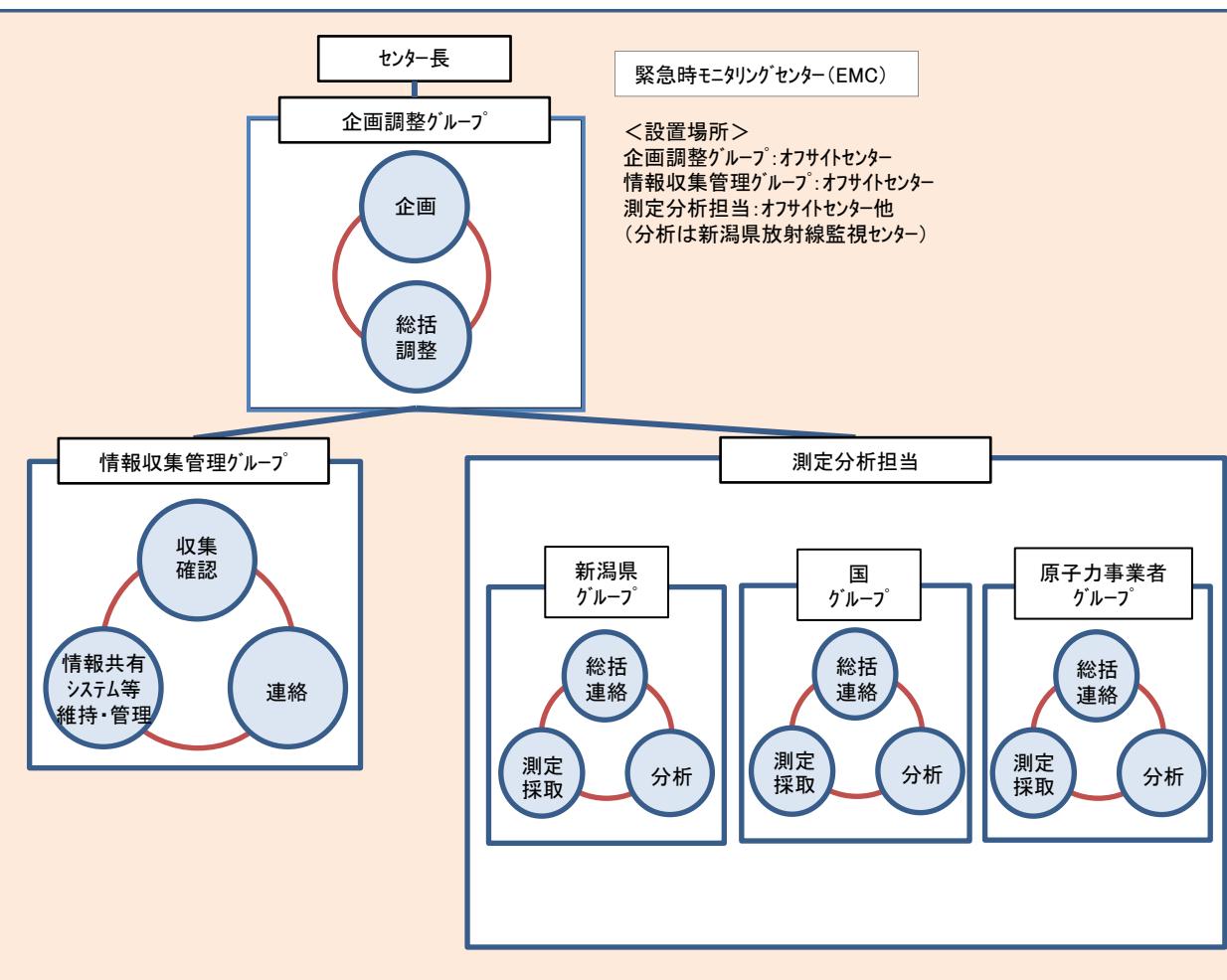
貸出用機材の種類	担当省庁	主要緊急物資
通信機器	総務省	災害対策用移動通信機器 (衛星携帯電話、MCA端末、簡易無線機)

※物資の調達・供給に係る、関係機関等の基本的な対応については、P128、129の体制に基づき実施。

8. 緊急時モニタリングの実施体制

緊急時モニタリングの体制

- 国は、施設敷地緊急事態に至った原子力施設の立地道府県に緊急時モニタリングセンター(EMC)を設置する。
- 緊急時モニタリングセンター(EMC)の体制について、センター長、企画調整グループ及び情報収集管理グループをオフサイトセンターに、測定分析担当は、新潟県放射線監視センターに拠点を設置する。UPZ外の緊急時モニタリング実施が求められる場合には、国の要員が中心となり、原子力事業者と協力して対応にあたる。
かしわざきかりわ
- 柏崎刈羽原子力規制事務所に職員を配置し、緊急時モニタリング体制を強化。



企画調整グループ[°]

EMCの企画調整を担い、EMC内の活動に対する監督を行う。

情報収集管理グループ[°]

中央との情報共有システムを維持・管理するとともに、緊急時モニタリングデータの一元的管理等を行う。

測定分析担当

緊急時モニタリングを実施する。